TC·HELICON

Japanese Manual - 日本語マニュアル

Play Acoustic

重要 - 安全のための注意事項 1

はじめる前に 4
このマニュアルについて 5
サポートについて 5
VoiceSupport 5
ユーザー登録をお済ませください 5

イントロダクション 6
凡例 7
図表について 8

基本機能 9
インプット／アウトプット 10
ゲイン設定 12
フットスイッチの機能 14
コントロール・ノブと左右矢印ボタン 16
ソフト・ボタン 18

接続図 20
ミキサーのセットアップ 21
Play Acoustic リアパネルのインプットとアウトプット 21
ステレオ（またはモノラル）ヴォーカル & ギター 22
モノラル・ヴォーカル & ギター・アンプ 23
モノラル・ヴォーカル & ギター＋TC-Helicon FX150 24
モノラル・ヴォーカル（FX150 経由）＋ギター・アンプ 25
ギター & ヴォーカル→ FX150 ＋ステレオ・アウト→ PA 26
ステレオ PA& ギター／ヘッドフォン・ケーブル（別売オプション） 27

SETUP - セットアップ・ボタン／セクション 28
INPUT - インプット・ページ (1/7) 29
OUTPUT - アウトプット・ページ (2/7) 31
SYSTEM - システム・ページ (3/7) 32
SYSTEM page 2 - システム・ページ 2 (4/7) 33
LOOP - ループ・ページ (5/7) 34
Switch-3 ページ (6/7) 35
SYSTEM INFO - システム情報ページ (7/7) 36

VOCAL FX - ヴォーカル・エフェクト・ボタン／セクション 37
HARMONY - ハーモニー・ページ (1/7) 39
HARMONY ADVANCED - ハーモニー（アドバンス）ページ 40
DOUBLE - ダブリング・ページ (2/7) 41
DELAY - ディレイ・ページ (3/7) 42
DELAY ADVANCED – ディレイ（アドバンス）ページ 43
REVERB - リバーブ・ページ (4/7) 44
HardTune ページ (5/7) 45
TRANSDUCER - トランスデューサー・ページ (6/7) 46
TRANSDUCER ADVANCED - トランスデューサー（アドバンスド）ページ 47
μMod ページ (7/7) 48

GUITAR FX - ギター・エフェクト・ボタン／セクション 49
GUITAR REVERB - ギター・リバーブ・ページ (1/7) 51
GUITAR μMOD - ギター μMOD ページ (2/7) 52
BODYREZ EQ - BodyRez EQ ページ (3/7) 53
BODYREZ SHELF EQ - BodyRez シェルフ EQ ページ (4/7) 54
BODYREZ PARAMETRIC EQ - BodyRez パラメトリック EQ ページ (5/7) 54
BODYREZ COMPRESSOR - BodyRez コンプレッサー・ページ (6/7) 54
GUITAR ANTI-FEEDBACK - ギター・アンチフィードバック・ページ (7/7) 56
NOTCH FILTER - ノッチフィルター・セクション 56
フィードバック対策の操作手順 56

MIX - ミックス・ボタン／セクション 57
MIX - ミックス・ページ (1/2) 58
MIX - ミックス・ページ (2/2) 59

ルーパー 60
ルーピングとは？ 61
Play Acoustic ルーパーの操作方法 61
ルーピングのヒント 62
Switch-3 を使ったルーピング操作 62

トラブルシューティング 63
トラブルシューティング - 一般 64

付録 65
TC-Helicon スケール表 66

リンク 67
サポート情報 68
TC-Helicon 68
TC-Helicon ニュースレター 68

仕様 69

Product	Play Acoustic
Product (firmware) version	1.0
Document	レファレンス・マニュアル
Document version/date	2014-07-15

重要 - 安全のための注意事項

1. 注意事項をお読みください。
2. 注意事項の書類は手の届くところに保管しておいてください。
3. 全ての警告をお守りください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本機器は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除には、乾いた布のみを使用してください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。製造者の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブをはじめ、熱を発生する機器（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全性を確保するための構造です。無効にしないでください。有極プラグは、二本のブレードのうち、一方が幅広になっています。アース付きプラグは、二本のブレードと、一本のアース棒が付いています。幅広のブレードおよびアース棒は、使用者の安全を守るためのものです。製品に付属するプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事事業者に相談し、古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードは、特に差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、人に踏まれたりはさまれたりしないように保護してください。
11. アクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、この装置用に販売されているもの、または製造者が指定するもののみを使用してください。カートを使用する場合は、機器を載せて移動する際に、機器の落下や怪我に注意してください。

13. 雷雨の発生中または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 保守整備は、必ず資格を持ったサービス技師にご依頼ください。電源コードやプラグの損傷、機器に液体がかかったまたは異物が入り込んだ場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、機器を落とした場合など、機器が何らかの状態で損傷した場合には保守整備が必要です。

注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります。

保守整備（サービス）

- サービス作業は、必ず資格を持ったサービス技師が実施してください。
- 内部にユーザーがサービス作業を実施できる部品はございません。

警告

- 火災や感電のリスクを軽減するために、機器を雨や湿気にさらさないでください。花瓶等液体の入ったものを機器の上に置かないでください。
- 必ずアースを正しく接続してください。
- 製品に同梱されているものと同様の、アース付 3 芯の電源コードを使用してください。
- 適切な電源コードとプラグ形状・動作電圧は地域によって異なります。
- 電圧を確認し、正しいタイプのものを使用してください。

電圧	プラグ規格
110 to 125 V	UL817 and CSA C22.2 no 42.
220 to 230 V	CEE 7 page VII, SR section 107-2-D1/IEC 83 page C4.

- 本装置は、電源コードの抜き差しが容易に行える、コンセントの近くに設置してください。
- 本装置を商用電源側から完全に絶縁するには、電源コードをコンセントから外してください。
- パワーサプライの電源プラグは容易に抜き差しができる様にしてください。
- 閉じられた空間に設置しないでください。
- 2000m 以下の標高でご使用ください。
- 本体を開けないでください。感電の原因となります。

EMC / EMI

Electromagnetic compatibility / Electromagnetic interference

本機器は FCC 規準 Part 15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。

これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じうる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本機器は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本機器の電源を立ち下げてから再度立ち上げてください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で干渉の解消を試みることを推奨します。

- 受信アンテナの向き、設置場所を変更する
- 本機器と受信機の距離を遠ざける
- 本機器を受信機と別の系統の電源回路に接続する
- 販売代理店、または経験のある無線／ TV の技師に相談する

FOR CUSTOMERS IN CANADA

本 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本書で使用する記号

三角形に括られた矢印付きの落雷マークは、接触すると感電の恐れがある、危険な高電圧の絶縁されていない部品が機器内部に配置されていることを示します。

三角形に括られた「!」サインは、機器を操作またはサービス作業を実施するうえで重要な指示が、製品に付属の文書類に記載されていることを示します。

はじめる前に

このマニュアルについて

このマニュアルは、Play Acousticの機能と操作方法の情報が含まれます。

本レファレンス・マニュアルの最新版は、次の URL からダウンロードできます。
tc-helicon.com/products/play-acoustic/support/

重要な情報を見落とすことのないよう、マニュアルは全体を通してお読みください。

サポートについて

本レファレンス・マニュアルを読んだ後で本機の操作等についてご質問がございましたら、弊社オンラインサポートまでご連絡ください。
http://support.tcgroup-japan.com

VoiceSupport

VoiceSupport は、TC-Helicon 製品のポテンシャルをフルに引き出し、最新ニュースや使用上のヒント等を閲覧するためのアプリケーションです。

主な機能は次の通りです。

- プロフェッショナルの手によるプリセット・ライブラリー
- 製品マニュアルへの直接アクセス
- ソフトウェアの最新バージョンのアップデート通知
- ドラッグ＆ドロップ形式のプリセット管理
- 製品コンテンツのユーザー設定
- VoiceCouncil：シンガー向けのアドバイス集
- ファームウェア・アップグレード
- アカウント管理
- サポートへのアクセス

VoiceSupport には Windows 版と Mac OS 版が用意されています。
www.tc-helicon.com/products/voicesupport からダウンロードできます。

ユーザー登録をお済ませください

Play Acousticのユーザー登録を行なうには、Voice-Supportを起動し、ACCOUNTボタンをクリックします。

VoiceSupport の使用にあたって製品登録は必須事項ではありません。プリセットのダウンロード／ファームウェアのアップデート／サポートに連絡できます。

イントロダクション

Play Acousticマニュアルへようこそ

この度は、Play Acousticをご購入いただき、ありがとうございます。TC-Helicon では、本エフェクト･プロセッサーが、貴方のアコースティックギター・ヴォーカルのパフォーマンス向上に役立つものであると信じております。

製品同梱のクイックスタート・ガイドからもご想像いただけるかもしれませんが、Play Acousticは、シンプルな操作性から想像される以上に多彩な機能を秘めている、大変奥の深い製品です。 新しい楽器を扱うのと同様に十分に時間をかけて、製品を理解した上で自分ならではの使いこなし方を探し当ててください。

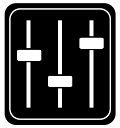
本マニュアルがお手元にない場合：Play Acoustic本体の底面に、重要な機能の早見表が印刷されています。

凡例

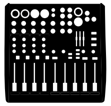
本マニュアルの接続図では次の記号を使用します。

マイクロフォン

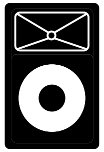
アコースティック・ギター



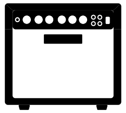
モニター・ミックス



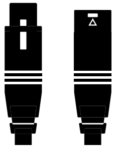
ミキサー



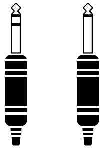
PA



ギター・アンプ

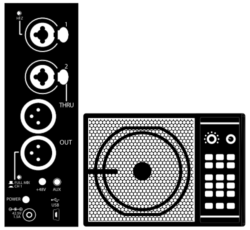


XLR ケーブル



1/4" 標準 TRS ／ TS ジャック・ケーブル

1/8" ／ 3.5 mm ミニジャック・ケーブル

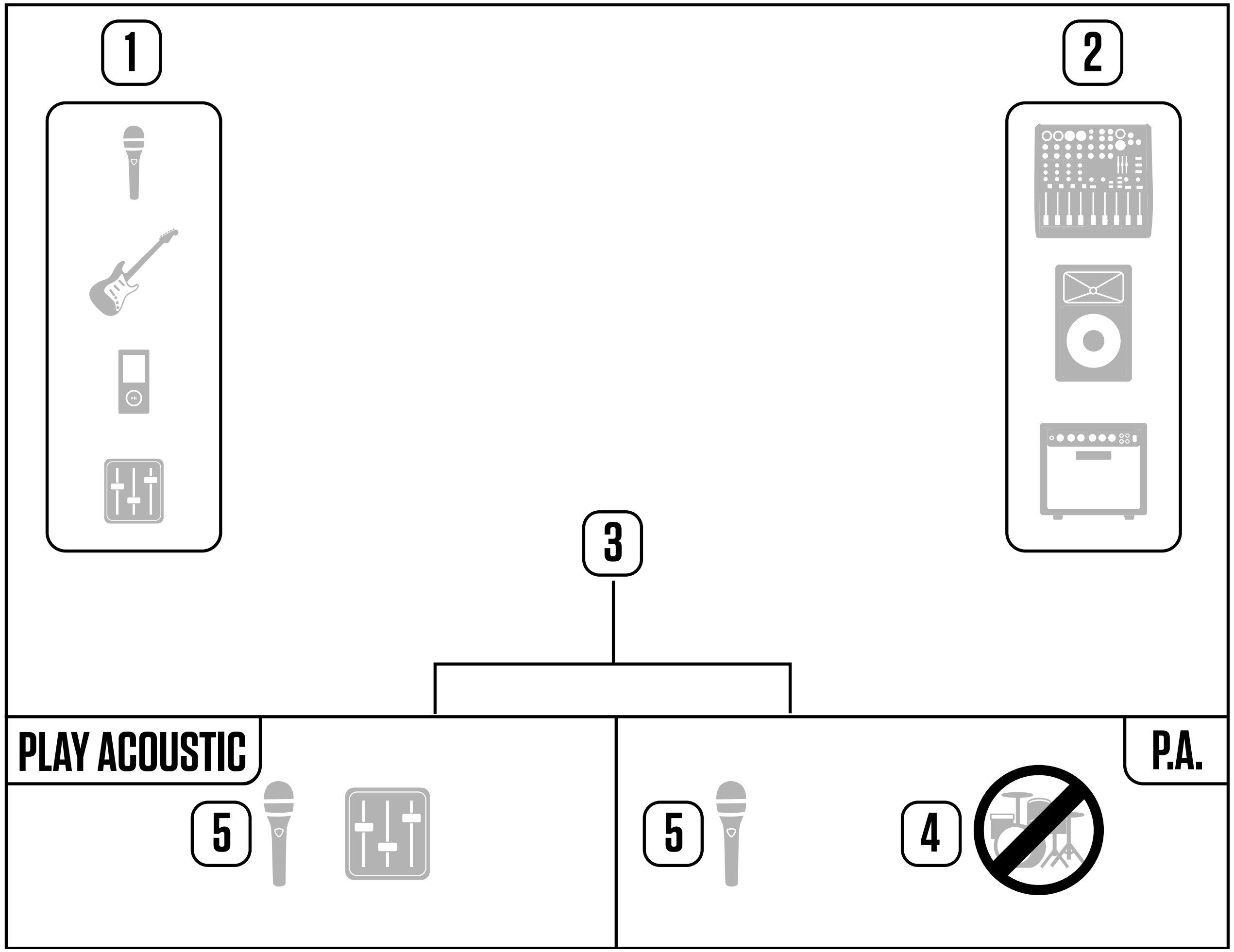


TC-Helicon VoiceSolo FX150 パーソナル PA モニター

図表について

接続とセットアップを円滑に進められるよう、後述の「接続」セクションには、接続図が用意されています。各接続図の基本的な構成は次の通りです。

1. 図の左側には、Play Acousticに接続する音声のソースが示されます。
2. 図の右側には、Play Acousticの出力先が示されます。
3. 図の下にある 2 つの枠の意味は次の通りです。
   - 「Play Acoustic」の枠内には、Play Acousticのヘッドフォン･アウトから聴こえる信号が示されます。
   - 「P.A.」の枠内には、PA スピーカーから聴こえる信号が示されます。
4. 各接続図では他の入力ソースや楽器は考慮しておりませんので、ドラム等の図はありません。
5. 多くの例においてヘッドフォンと PA 用の出力内容は同じとなりますが、必ずしも一緒とは限りません。



基本機能

Play Acoustic – リアパネル

インプット／アウトプット

コネクター類は、右から左の順に解説します。セットアップ例については、「接続図」セクションをご参照ください。

MIC - マイク・コネクター

ダイナミック／コンデンサー両タイプのマイクに対応します。MP-75 または e835 fx マイクにも対応します。Play Acousticクイックスタート・ガイドの指示に従って、マイクのタイプとレベルを正しく設定してからご使用ください。

GUITAR IN - ギター・イン・コネクター

ギターを接続するための入力コネクターです。

AUX コネクター

音楽プレイヤー等の出力を Play Acousticに接続するための 1/8" ミニジャック入力コネクターです。ギターが未接続の状態でこのコネクターに音を入力すると、Play Acousticはその信号からキーとスケール情報を解析します。

PEDAL - ペダル・コネクター

別売オプションの Switch-3 フットスイッチを接続するためのコネクターです。Switch-3 の接続には､TRS ケーブルを使用します。Switch-3 のフットスイッチから、ループ操作やエフェクトのコントロールが行えます。Switch-3 の各ボタンの機能割り当てについての詳細は、本マニュアルの Switch-3 メニュー・セクションをご参照ください。

GUITAR DI（R）／ VOICE（L）- ギター DI（R）／ VOICE（L）アウトプット・コネクター

Play Acoustic のメイン・アウトプット・コネクターです。デフォルトの状態では、ヴォーカルはモノラルで VOICE（L)、ギターはモノラルで GUITAR DI（R）から出力されます。SETUP/OUTPUT メニューからこの設定を変更できます。

GND - グラウンド・スイッチ

グラウンド・リフト・スイッチです。Play Acousticの使用時にハムノイズが発生する場合、このボタンを押すことでハムを軽減できることがあります。

ヘッドフォン・コネクター

ヘッドフォンを接続するためのコネクターです。

USB コネクター

付属 USB ケーブルでコンピューターに接続するためのコネクターです。VoiceSupport ソフトウェアから、プリセット管理と製品のファームウェア・アップデートを行えます。

VoiceSupport のダウンロード URL：
tc-helicon.com/products/voicesupport/

USB 経由で 16 ビット、44.1/48 kHz のステレオ・オーディオ入出力が行えます。

USB 経由で入力された信号は USB 出力されませんので、DAW 側で再生したトラックに合わせてギターを弾くまたは歌った場合には、ギターとヴォーカルの信号のみが DAW に送られます。

電源コネクター

付属品の専用パワーサプライを接続するためのコネクターです。電源は、自動的にオンになります。**必ず、TC-Helicon パワーサプライ（12V、400 mA）をご使用ください。** 他のパワーサプライを使用して発生した製品の不具合は、保証対象外となります。

ゲイン設定

インプット LED レベル・メーターについて

Play Acoustic上部の LED は、ヴォーカルとギター両方のレベル表示を行います。

マイクまたはギターのレベルを設定する際には、それぞれを個別に行ってください。ヴォーカルのレベル調整時にはギターは弾かず、ギターのレベル調節時には歌わないでください。

メーターは、ギターとヴォーカルのレベルを合算して表示します。

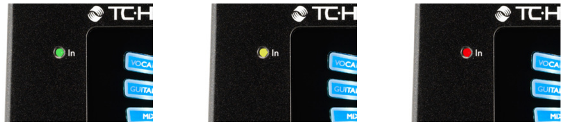
LED の赤点灯は、クリッピングが生じている状態を示します。ギターとヴォーカルを個別に試すことで、どちらのレベルが過剰なのかを把握できます。

単体では OK でも、2 つの音を合わせた時に過剰レベルになることがあります。この場合は、演奏と歌唱を同時に行った際に LED が赤く点灯しなくなるまで、両方のインプットを若干下げます。

マイク・ゲインの設定

マイクを接続してマイク・タイプを選択（ダイナミック／コンデンサー／ MP-75 ／ e835　fx）したら、Play Acoustic本体側面の MIC GAIN ノブでマイクのインプット・レベルを調整します。

Play　Acousticの IN　LED を確認しながら、レベルを下げきった状態からゆっくりと上げていきます。通常は緑、稀に黄色に点滅する状態まで上げます。赤の表示色は入力レベルが高すぎる状態を示しますので、LED が赤く点灯した場合にはレベルを下げます。



Play Acoustic 上の表示

ギター・レベルの設定

ギター・インプットの設定は、SETUP（セットアップ）メニューのページ 1 から行います。SETUP メニューにアクセスするには、SETUP ボタンを押してから、「<」「>」ボタンでページを移動します。「GUITAR　IN」の隣のソフト･ボタンを押してギター･インプットを選択し、コントロール・ノブでレベルを調整します。

LCD ディスプレイの表示について

PlayAcousticディスプレイ

Play Acousticの LCD ディスプレイは、次の情報を表示します。

プリセット名
選択されているプリセットの名称です。上記スクリーンショットのプリセット名は､「HIGH HARMONY」です。「プリセット」については､「プリセットとは ?」セクションをご参照ください。

プリセット番号
プリセットが保存されているスロット番号です。上記スクリーンショットのプリセット番号は 1 です。

FAV（FAVORITE）-「お気に入り」インジケーター
現行プリセットがお気に入りに指定されていると、ディスプレイの右上にFAVインジケーターが表示されます。

NP（NATURALPLAY）- ナチュラルプレイ・インジケーター
Play　Acousticがコード情報を検知すると、ディスプレイの右下に NP インジケーターが表示されます。

インジケーターは不規則に点滅することがありますが、これは通常の動作であり、異常ではありません。

NaturalPlay とは ?
Play　Acousticはハーモニー・エフェクトなどを楽曲に対して違和感なく生成するために、いくつかのオーディオ・ソースから楽曲のキー／スケール情報を自動的に取得します。ギターを GUITAR　IN コネクターに接続している場合、NaturalPlay 機能は優先的にそこからキー／スケール情報の取得を試みます。GUITAR　IN 入力 ＞ AUX 入力 ＞ RoomSense 内蔵マイク、の順番でキー／スケール情報を取得します。

いずれかのインプットからキー／スケール情報が検知されると、キー／スケールが自動で設定されます。NP インジケーターは変更があった際にのみ表示されますので、常時表示されない状態は異常ではありません。

LOOP - ループ・インジケーター
ループが再生中、尚且つループ・モード・スクリーンが表示されていない場合、ディスプレイの右下に LOOP インジケーターが表示されます。

GB（GUITAR BOOST）- ギター・ブースト・インジケーター

ギター・ブーストがオンに設定されていると、ディスプレイの左下にギター・ブースト・インジケーターが表示されます。

ジャンル・インジケーター

ジャンル･セレクターを「ALL」以外に設定すると､ディスプレイの左上に全ての選択ジャンルが表示されます。上記スクリーンショットのジャンルは「HARMONY」です。

フットスイッチの機能

Play Acoustic のフットスイッチ

▲（アップ）／▼（ダウン）フットスイッチ

プリセットを切り替える際に使用します。

- 1 回押すと隣のプリセットに移動します。
- 長押しすると、プリセット間をスクロールすることができます。

HIT ／ HOLD FOR TALK - HIT ／トーク・フットスイッチ

通常動作では、このスイッチは予めプリセットに組み込まれている追加エフェクトがオン／オフされます。

同一プリセット内で、コーラス部のみにハーモニー・エフェクトをプラスしたい時などに使用します。

TALK（トーク）モード

HIT/TALK スイッチを長押しすると、Play Acousticは TALK（トーク）モードに入ります。

TALK モードが作動中の時は、ヴォーカル・エフェクト類が全てバイパスされた状態でマイク入力の信号が直接メイン出力に送られます。

TALK/TUNER（トーク／チューナー）モード

GUITAR IN にギターを接続している状態で HIT/TALK スイッチを長押しすると、Play Acousticは TALK/TUNER モードに入ります。TALK/TUNER モードでは、ギターの出力がチューニング用にミュートされ、ヴォーカルはドライの状態で出力されます。MC やトークを行いながらギターをチューニングできます。

LOOP（ループ）モード

▲ UP ／▼ DOWN スイッチを同時に長押しすると LOOP（ループ）モードに入ります。

ルーパーについての詳細は、「ルーパー」セクションをご参照ください。

LOOP モード・スクリーン

LOOP モード時における▼ DOWN スイッチの機能は次の通りです。

- PLAY（再生）
- REC（録音）
- OVERDUB（オーバーダブ）

▼ DOWN スイッチを長押しするとアンドゥ操作が実行されます。

LOOP モード時における▲ UP スイッチの機能は次の通りです。

- STOP（停止）
- ERA（長押しで消去）

LOOP モードを終了するには HIT/TALK スイッチを押します。

ループの再生中に LOOP モードから EXIT し、別のプリセットに切り替えてから再度 LOOP モードに入り、オーバーダブを行うことも可能です。

ループのアンドゥ／リドゥ
ループのオーバーダブをアンドゥするには、▼ DOWN スイッチを長押しします。

アンドゥしたオーバーダブを復帰させる（リドゥする）には、再度▼ DOWN スイッチを長押しします。リドゥ操作は、アンドゥ後に別のオーバーダブを重ねていないことが条件となります。

SWITCH-3 を使ったループの操作

別売オプションの TC-Helicon Switch-3 を Play Acousticの PEDAL コネクターに接続することで、Switch-3 からループの機能を操作できます。

Switch-3 を接続することで、アンドゥ操作専用のスイッチを追加することが可能となります。

Switch-3 を接続すると、Play Acoustic の▲ UP ／▼ DOWN スイッチはキー／スケール設定機能に割り当てられます。

詳細は、「Switch-3 ページ (6/7)」をご参照ください。

▲ UP ／▼ DOWN スイッチによるキーとスケールの設定

初期設定では、▲ UP ／▼ DOWN スイッチの同時長押し操作は LOOP モードへのアクセス機能に割り当てられています。SYSTEM（システム）メニューページ 5 の「UP/DN FUNCTION」パラメーターから、▲ UP ／▼ DOWN スイッチの同時長押し操作をキー／スケール設定機能に変更できます。

この設定を行うと、▲ UP ／▼ DOWN スイッチからキーとスケールを変更できるようになります。

楽曲のキー／スケールが分からない場合は、楽曲の一番最後に使用されるコードをキーに、「Major 2」をスケールに設定してみてください。世に存在するポップソングの多くは、この設定で効果的なハーモニー生成が可能です。

詳細な情報は、「TC-Helicon スケール表」をご参照ください。この表は、
support.tc-helicon.com/entries/21051886-scale-chart-for-TC-helicon-products/
でもご覧いただけます。

新しく選択したキーとスケールを適用するには、EXIT を押します。

選択したキーとスケールの情報を現行プリセットに保存するには、STORE を二回押します。プリセットの保存操作については、本マニュアルの後述のセクションをご参照ください。

タップ・テンポ

▲ UP スイッチと HIT/TALK スイッチを同時に長押しすると、タップテンポ機能にアクセスできます。

タップ・テンポ

タップ・テンポ機能は、ディレイなどのエフェクトを楽曲のテンポに合わせる時に使用します。タップ・テンポ機能が作動すると、現在のテンポがディスプレイに表示されます。HIT/TALK スイッチを楽曲のテンポに合わせて押すことでテンポを変更できます。

HIT/TALK スイッチを一定時間踏まないと、自動的にタップテンポ機能は終了し、通常のプリセット画面に戻ります。

コントロール・ノブと左右矢印ボタン

BACK ／ STORE ／左右矢印（◀／▶）ボタン／コントロール・ノブ

コントロール・ノブは、プリセットの移動や各メニュー内の項目の移動に使用します。

矢印ボタンは、プリセットの変更、エフェクト／セットアップ・ページの移動、スタイル／ジャンルの切り替え等に使用します。

左右いずれかの矢印ボタンを長押しすることで、メニューの最初または最後の項目に移動できます。例えば、VOCAL FX（ヴォーカル・エフェクト）メニューのページ 1（HARMONY ページ）で右矢印ボタンを長押しすると、ページ 7（TRANSDUCER ページ）に移動します。

BACK - バック（戻る）ボタン

現在のメニュー画面やモードから EXIT する際に使用します。

STORE - ストア（保存）ボタン

プリセットとは？

Play Acousticを効果的に使用するには、「プリセット」のコンセプトを正しく理解する必要があります。

プリセットとは、複数の設定の集合体です。プリセットを切り替える一つの操作で、機器が搭載している様々なエフェクトの莫大な数の設定を一括して切り替えることができます。

プリセットのコンセプトは極めて幅広い使い方ができます。「リバーブのプリセット」「ハーモニーのプリセット」と言った具合に、特定のサウンドを指すシンプルなプリセットを作成することもできますし、特定の楽曲、そして楽曲内の特定のセクション専用に、複数のエフェクトやセッティングの組み合わせを作り込んでいくこともできます。

プリセットは、現代のパソコンのユーザーアカウントに例えることができます。各ユーザーは同じハードウェア（CPU、RAM 等）にアクセスするものの、ユーザー毎にデスクトップの背景やアイコンの配列、プログラムの振る舞い等を設定できます。ユーザーがログオンする度に、コンピューターはそのユーザー向けにカスタマイズされたセッティングを呼び出します。

エフェクトの使い方は人それぞれで、汎用的なプリセットをその場でいくつか切り替える使い方から、事前に入念にセッティングを仕込んでおくスタイルまで、様々です。

いずれにせよ、VOCAL（ヴォーカル）セクションのセッティングの微調整が終わった時点で、設定をプリセットとして保存しておくことをお勧めいたします。そうすることで、後からいつでもその設定に戻ることが可能となります。

ギター・エフェクトの設定は、プリセットの保存が必要ありません。ギター・エフェクトの設定は、全てのヴォーカル・プリセットに共通で使用される、グローバルな扱いとなります。

プリセットの保存

プリセットに変更を加えた内容を保存するには、STORE ボタンを押します。

1 回押すとプリセット名や保存場所を指定する画面が表示されます。

再度押すと、指定した名前と場所にプリセットを保存します。

プリセット名の変更
STORE ボタンを 1 回押した後で、左矢印（◀）ボタンを押し、コントロール･ノブで文字／数字を変更します。作業が終了したら、STORE ボタンを再度押します。

保存場所の変更
STORE ボタンを 1 回押した後で、右矢印（▶）ボタンを押し、コントロール・ノブで保存場所を指定します。作業が終了したら、STORE ボタンを再度押します。

途中でプリセット保存の操作を中止したい場合は、BACK ボタンを押します。

ソフト・ボタン

ソフト・ボタン

Play Acousticの上面には、LCD の左右両側に 3 つずつ、合計 6 個のソフトボタンが配置されています。

各ボタンは、ディスプレイに表示されているページ内に使用できる項目がある場合にのみ、白色、もしくは青色に点灯します。

- 白色に点灯している場合は、ボタンに印字されている機能が使用できます。
- 青色に点灯している場合は、ディスプレイに表示されているボタンの横の項目を選択／非選択するのに使用できます。

メニューによって、操作に使用するボタンの数は異なります。

VOCAL FX - ヴォーカル・エフェクト・ボタン

VOCAL FX ボタンを押すと、ヴォーカル･エフェクトの設定を行うための VOCAL FX（ヴォーカル･エフェクト）メニューが開きます。詳細は、「VOCAL FX - ヴォーカル･エフェクト・ボタン／セクション」をご参照ください。

GUITAR FX - ギター・エフェクト・ボタン

GUITAR FX ボタンを押すと、ギター・エフェクトの設定を行うための GUITAR FX（ギター・エフェクト）メニューが開きます。詳細は、「GUITAR FX - ギター・エフェクト・ボタン／セクション」をご参照ください。

MIX - ミックス・ボタン

MIX ボタンを押すと、信号のレベルを調整するための MIX（ミックス）メニューが開きます。詳細は、「MIX - ミックス・ボタン／セクション」をご参照ください。

FAVORITE - お気に入りボタン

特定のプリセットをお気に入り登録しておくと、再度そのプリセットを呼び出したい時に素早く行えるようになります。後から、お気に入り登録されたプリセットのみを一覧することができます。

- お気に入り登録するには、登録したいプリセットが呼び出されている状態で FAVORITE ボタンを押すだけです。お気に入り登録されたプリセットは、LCD ディスプレイの右上に「FAV」と表示されます。
- お気に入り登録を外すには、登録されているプリセットが呼び出されている状態で FAVORITE ボタンを押します。
- お気に入り登録されたプリセットのみを一覧するには、GENRE ボタンでソートを行う際に、「FAV」を選択します。BACK ボタンを押してホーム表示に戻ると、お気に入り登録されているプリセットの一覧が表示されます。
  お気に入り登録されているプリセットが存在しない場合は、GENRE メニューで FAV の選択肢は表示されません。

GENRE - ジャンル・ボタン

プリセットをカテゴリー別に一覧する用途に使用します。ソート基準は楽曲のスタイルやエフェクト・タイプなど、複数用意されています。

GENRE ボタンを押すと、GENRE メニューに入ります。

GENRE メニュー内の項目のナビゲーションはコントロール・ノブで行います。ジャンルを選択します。

BACK ボタンを押すとメイン・ウィンドウに戻り、指定したジャンルに該当するプリセットのみが表示されます。

1 つのプリセットは複数のソート基準を有する場合があります。

SETUP - セットアップ・ボタン

SETUP ボタンを押すと、本体全体の動作に関連する設定を行うための SETUP メニューに入ります。詳細は、「SETUP - セットアップ・ボタン／セクション」をご参照ください。

接続図

本セクションでは、一般的なセットアップにおけるPlay Acousticの接続方法を解説いたします。音声入力／出力についての基本的な情報は、「インプット／アウトプット」セクションをご参照ください。

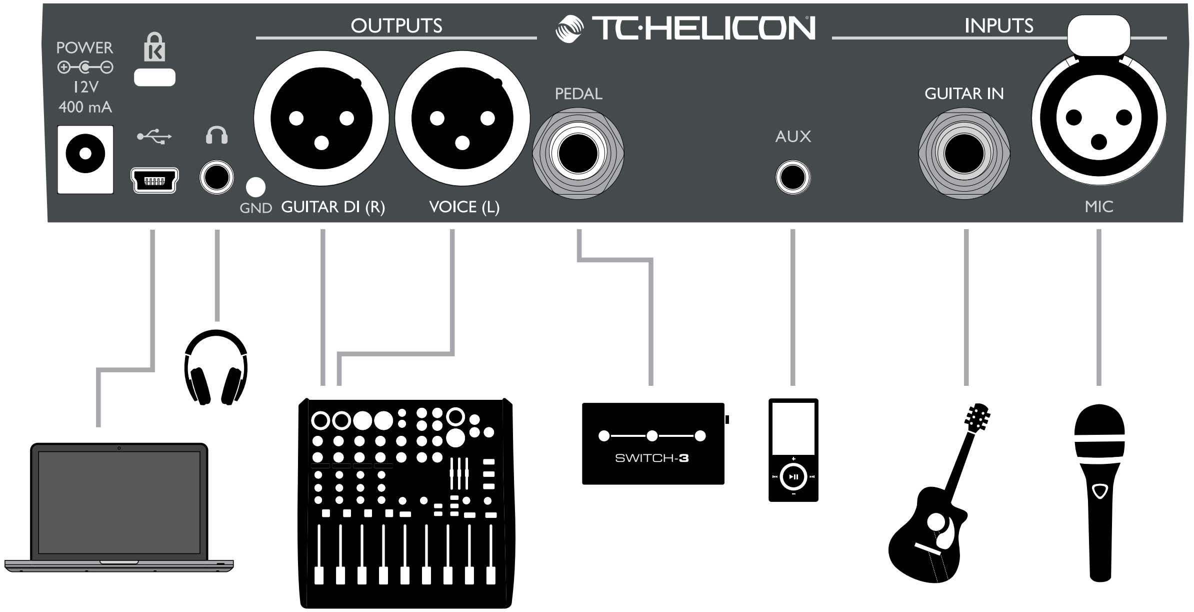
ミキサーのセットアップ

ミキサーまたはPAへの接続については、Craig's Cornerの解説ビデオを合わせてご参照ください（英語のみ）。

youtube.com/watch?v=qq0AOtafljs

信号経路上歪みの発生を防止し、機器から最善のS/N比を得るために、ゲイン・ステージングについての指示に従ってください。

Play Acoustic リアパネルのインプットとアウトプット



Play Acoustic のリアパネル

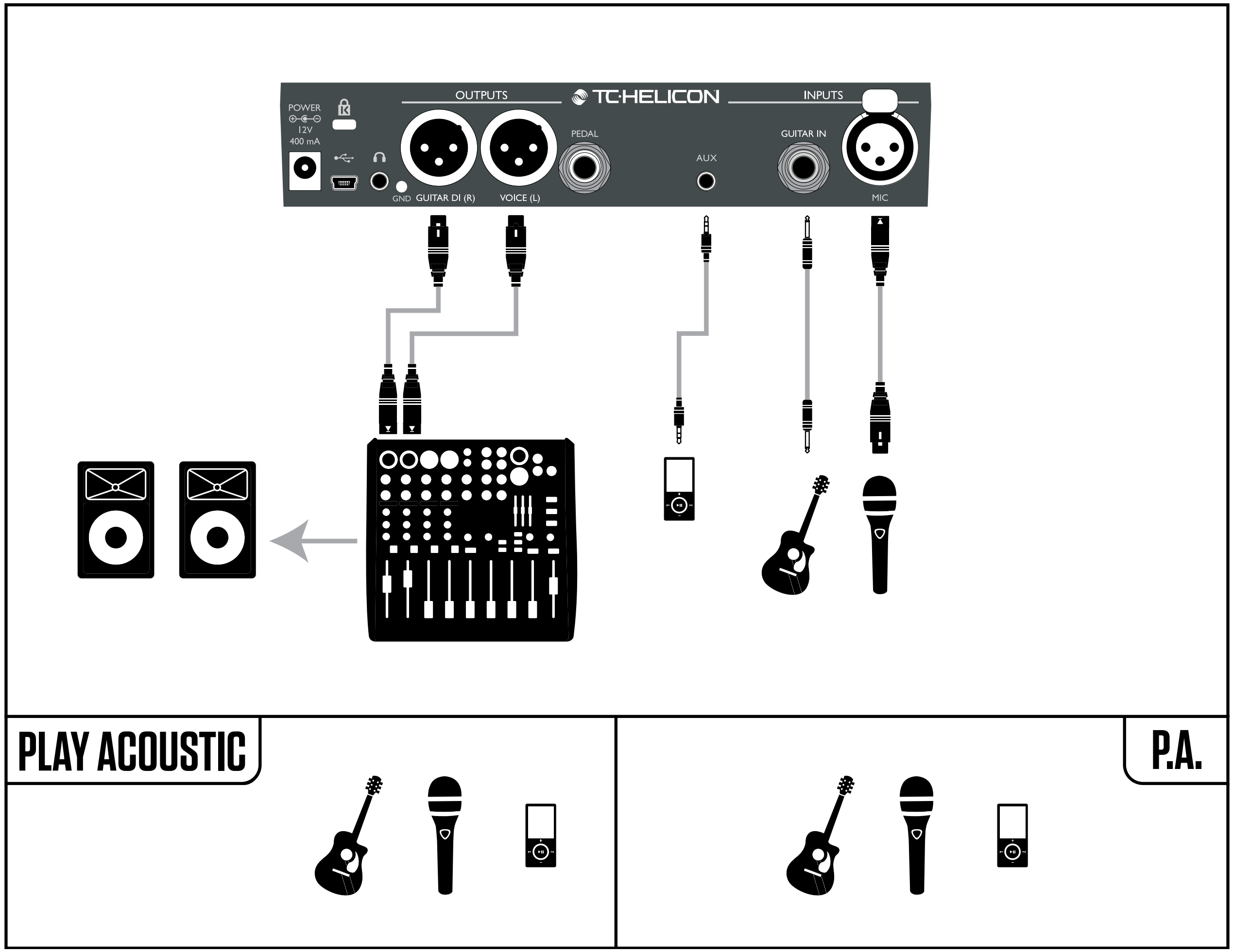
ステレオ（またはモノラル）ヴォーカル & ギター

この図は、ステレオとモノラル PA 両方の接続方法を示します。

Play Acousticをステレオに設定にしている場合、ミキサー側ではステレオ・チャンネルを使用するか、片チャンネルを左・もう片方を右にパンニングします。ヴォーカルとギターのレベル・バランスは Play Acoustic側で行います。

アウトプット・モードをモノに設定している場合、PA ミキサー側ではモノラル・チャンネル 2 系統を用意します。各チャンネルから、ヴォーカルとギターを独立して扱うことができます。モノ・モードの場合は、チャンネルを左右にパンニングしないでください。

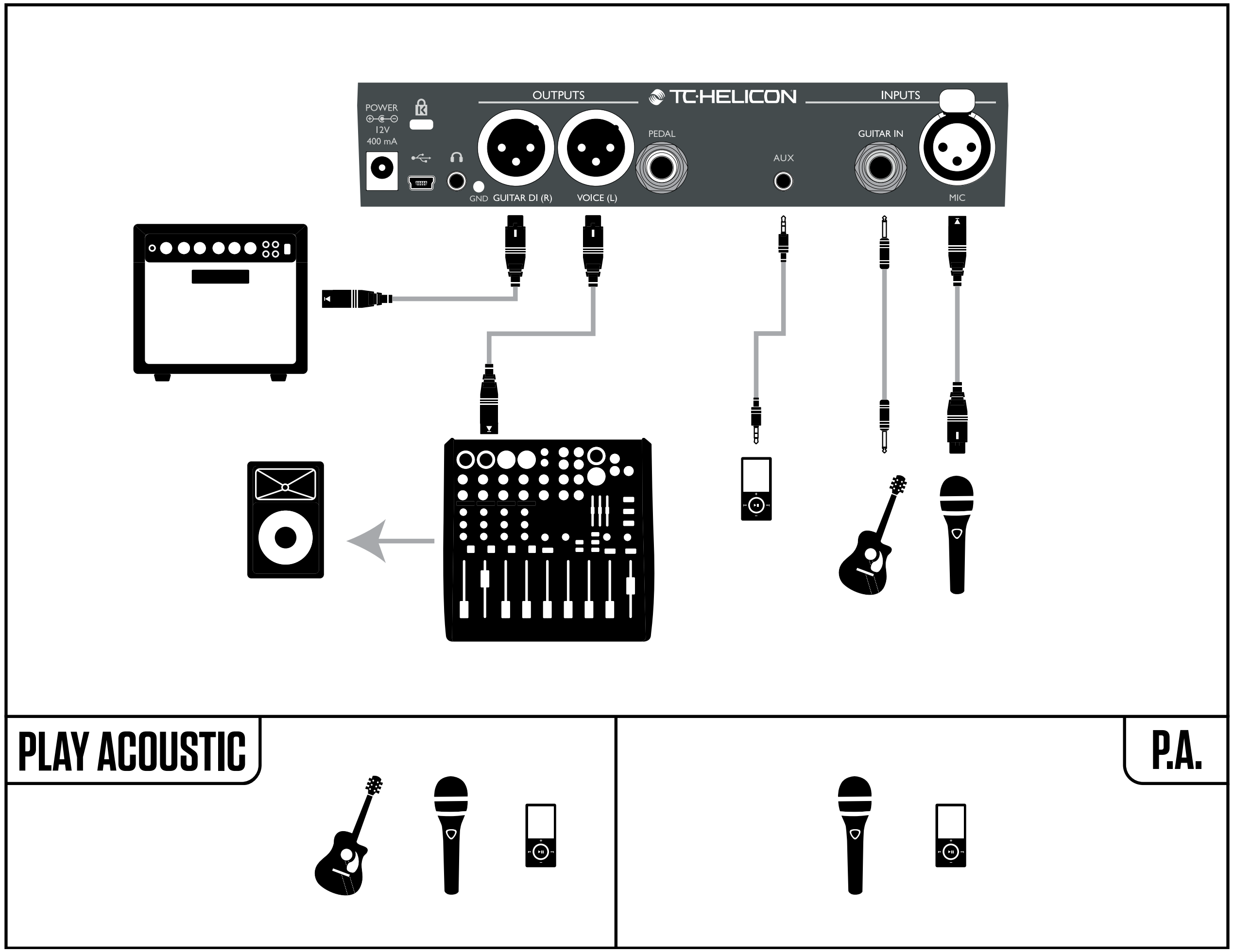
必要に応じて､AUX インプットの信号を XLR アウトプットから出力させない設定にできます（SETUP メニューの AUX TO MAIN OUT）。



セットアップ例 : ステレオ（またはモノラル）ヴォーカル＆ギター

モノラル・ヴォーカル & ギター・アンプ

ギターをアンプ、ヴォーカルをミキサーまたはパワード PA スピーカーに接続するセットアップ例です。



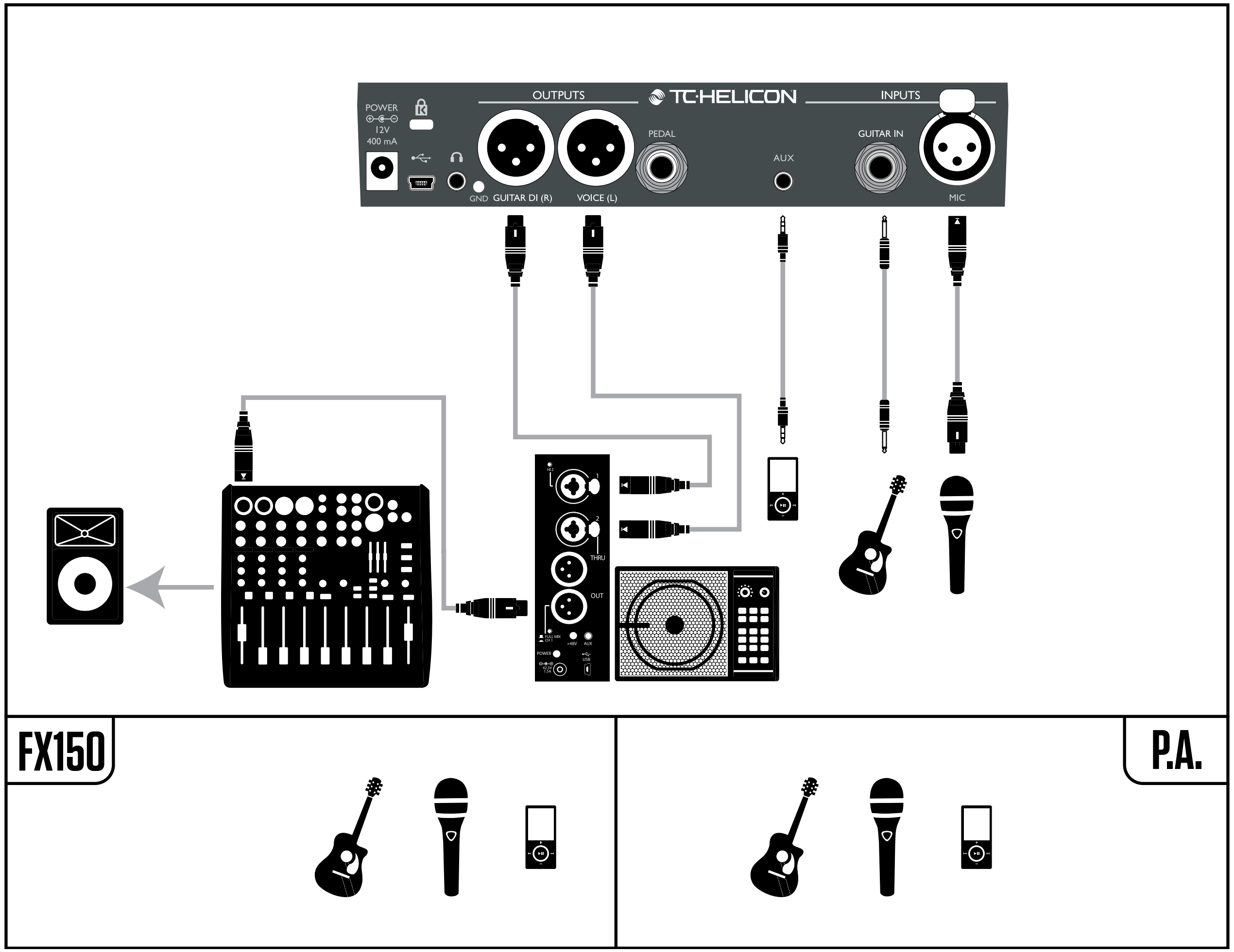
セットアップ例 : モノラル・ヴォーカル & アコースティックギター・アンプ

モノラル・ヴォーカル & ギター＋ TC-Helicon FX150

サミングされたモノラル信号をミキサーまたは PA に送りながら、マイクスタンド・マウントのモニタリングとヴォーカル／ギター・チャンネルのコントロールを行うセットアップ例です。

音楽プレイヤーの接続に Play Acousticの代わりに FX150 の AUX チャンネルを使用することで、ヴォーカル／ギター／ AUX を独立してコントロールすることが可能となります。この場合も、FX150 の出力側で信号がモノラルにサミングされます。

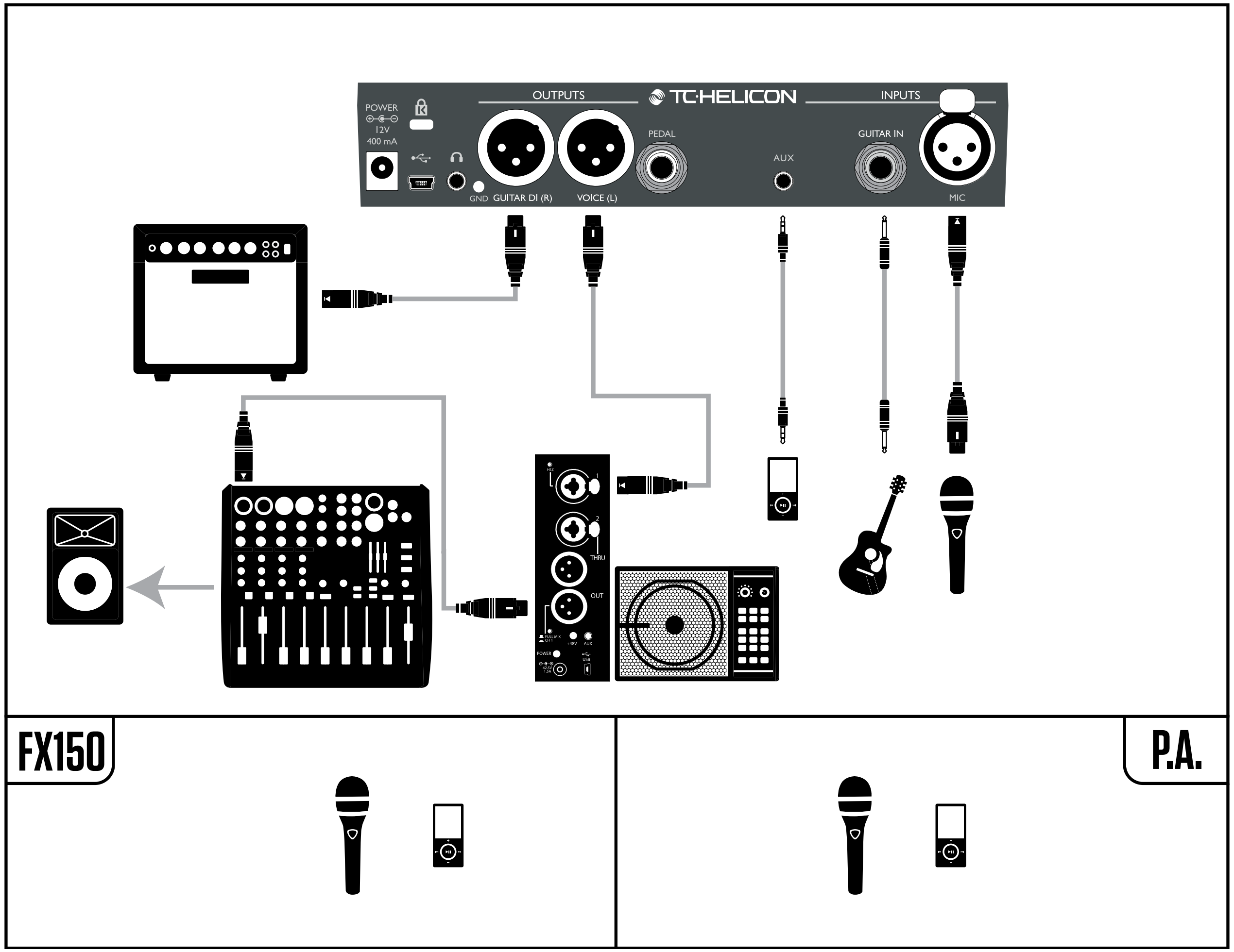
FX150 についての詳細は、次の URL をご参照ください。
tc-helicon.com/products/voicesolo-fx150/



セットアップ例 : モノラル・ヴォーカル & ギター＋ FX150

モノラル・ヴォーカル（FX150 経由）＋ギター・アンプ

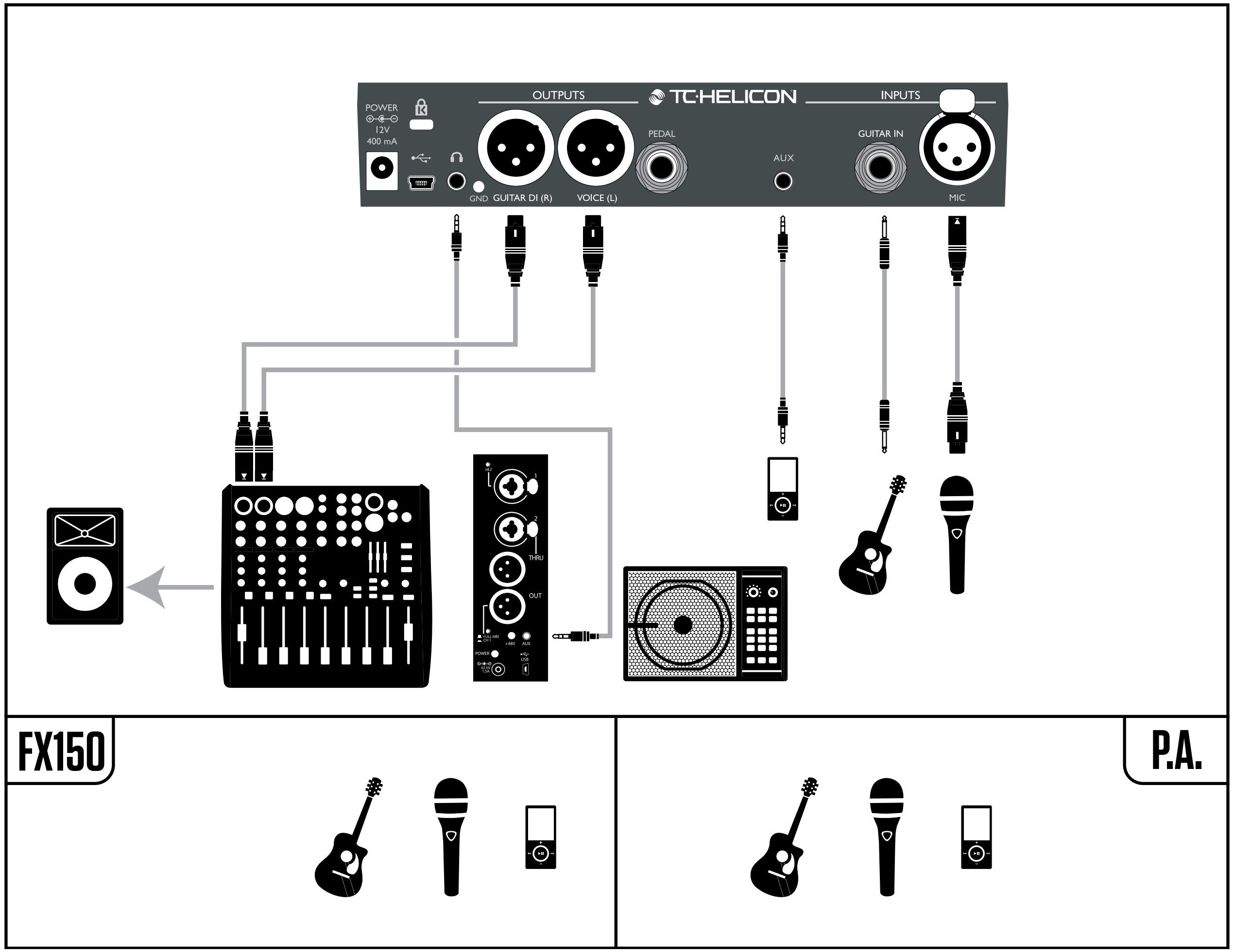
ヴォーカルを FX150 に、ギターをアンプに送るセットアップ例です。



セットアップ例 : モノラル・ヴォーカル（FX150 経由）＋アコースティックギター・アンプ

ギター & ヴォーカル→ FX150 ＋ ステレオ・アウト→ PA

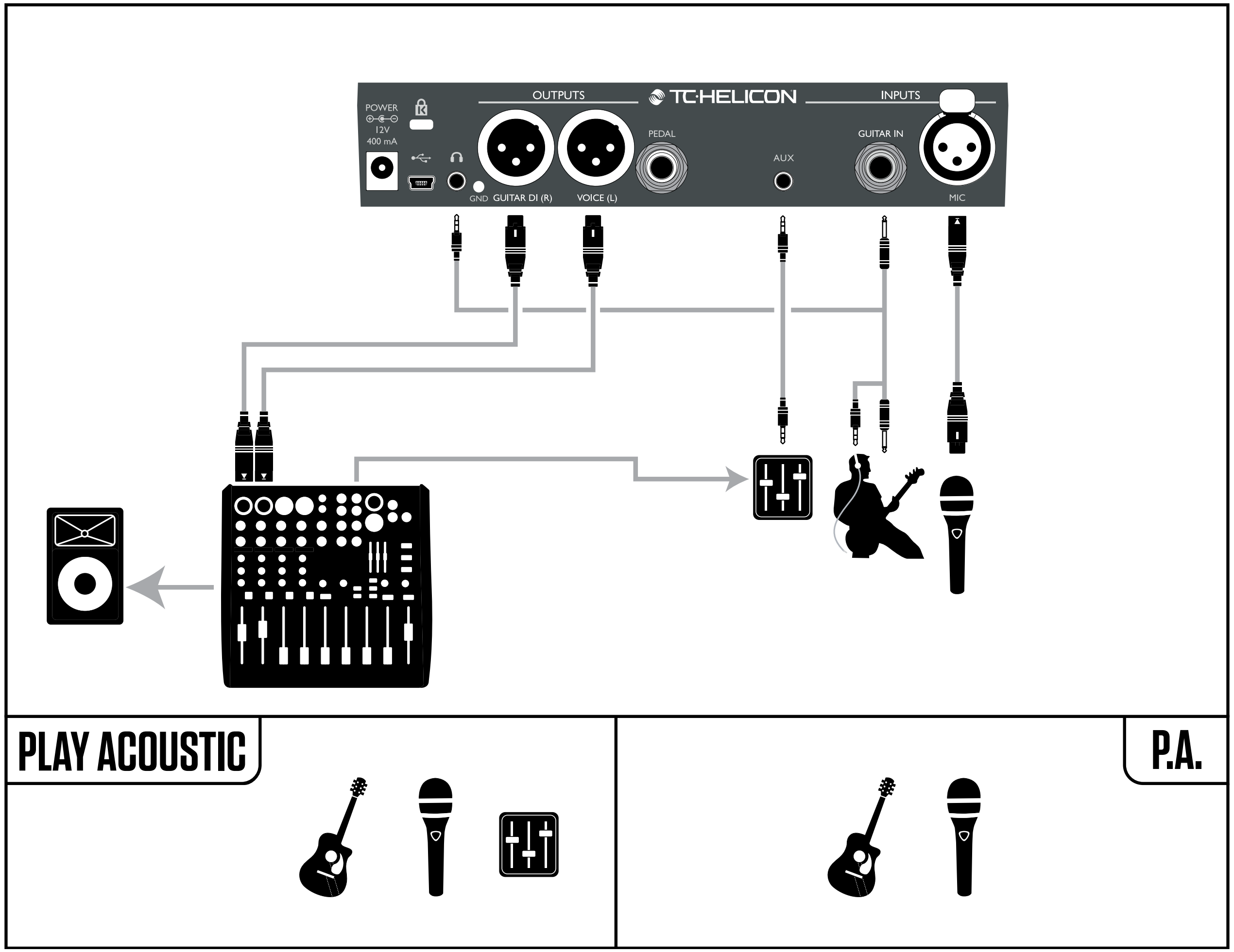
Play Acousticのヘッドフォン・アウトからギター／ヴォーカル／AUX信号をFX150に送り、Play AcousticのXLRアウトからステレオ・ミックスをPAに送るセットアップ例です。



セットアップ例 : ギター & ヴォーカル→ FX150、ステレオ・アウト→ PA

ステレオ PA & ギター／ヘッドフォン・ケーブル（別売オプション）

別売オプションのギター／ヘッドフォン・ケーブルを使用すると、外部モニター・センドを Play Acousticの AUX インに接続し、ヘッドフォン／インイアー・モニター・ミックスを構築できます。



セットアップ例 : ステレオ PA & ギター／ヘッドフォン・ケーブル（別売オプション）

SETUP - セットアップ・ボタン／セクション

INPUT - インプット・ページ (1/7)

INPUT - インプット・パラメーター
本項目では、使用するマイクのタイプを設定します。

DYNAMIC MIC - ダイナミック・マイク
Shure SM-58 や Audix OM5 等のダイナミック・マイクを使用する際に選択します。

CONDENSER MIC - コンデンサー・マイク
Shure Beta 87A 等のコンデンサー・マイクを使用する際に選択します。

MP-75 ／ E835 FX
TC-Helicon MP-75 または Sennheiser e835 fx マイクを使用する場合に選択します。これらのマイクには本体にコントロール・ボタンが搭載されており、手元から Play AcousticのHITやループ機能を遠隔操作できます。

初期設定では、このコントロール・ボタンは「HIT」オン／オフに割り当てられています。

USB
USB ポートからデジタル・オーディオを Play Acoustic に流し込むことができます。DAW からヴォーカル・トラックの信号を送り、Play AcousticElectric でプロセッシングを行えます。

DAW からドライ・ヴォーカルを送る場合は、DAW のミキサーで完全左側にパンニングしてください。

ハーモニー用にギター・トラックを送る場合は、DAW のミキサーで完全右側にパンニングしてください。

ROOMSENSE パラメーター
本項目では、本体に搭載されているステレオ・コンデンサー・マイク（RoomSense マイク）の機能を設定します。

AMBIENT - アンビエンス
RoomSense マイクで拾われた音はヘッドフォン出力へ送られます。

RoomSense マイクのレベルは MIX（ミックス）セクションで調整できます。デフォルトの設定はオフです。

フィードバックを防ぐため、RoomSense マイクで拾われた音はヘッドフォン出力にのみ送られ、XLR 出力には送られません。

インイア・モニタリングに使用する場合は、マイク信号のフィード、ルーム音を加えることができます。

AMBIENT/AUTO - アンビエンス／オート
RoomSense マイクで拾った音をヘッドフォン出力に送るのに加え、この音声信号から自動的に楽曲のキー／スケール情報を解析するモードです。Play Acoustic は楽器単体／バンド・アンサンブルに関わらずキー／スケール検知が可能で、この情報を元に適切なハーモニーと HardTune 効果を生成します。

ギターを接続している場合は、コード検知はギターが主となります。ギターの演奏を止めると、RoomSense マイクが使用されます。

GUITAR - ギター入力ゲイン・パラメーター
ギター入力ゲインを設定します。

ギターは、ピックアップ構成や回路によって出力レベルはそれぞれ異なります。ここで、適正なゲインに設定します。

まずはじめに、もっとも激しく演奏する時の強さでギターを弾き、赤い「IN」LED が稀に点滅するレベルまでゲインを上げていきます。そこから、LED が赤く点滅しなくなるまでレベルを下げます。LED メーターの詳細は、「インプット LED レベル・メーターについて」セクションをご参照ください。

MIC CONTROL - マイク・コントロール・パラメーター
Mic Control 対応マイク（別売）を使用する際の、マイク本体のコントロール・ボタンの機能を設定します。このパラメーターの設定を行うには、MP-75 または e835 fx マイクが必要です。MIC TYPE パラメーターを他のマイクに設定している場合は、このパラメーターは「N/A」（無効）と表示されます。

HIT
HIT 機能に割り当てがなされているプリセットにおいて HIT 機能のオン／オフが操作できます。

HIT + TALK - HIT ＋トーク
コントロール・ボタンを押すと、HIT 機能に割り当てがなされているプリセットにおいて HIT 機能のオン／オフが操作できます。

コントロール・ボタンを長押しすると、TALK（トーク／ MC）モードに入り、全てのエフェクトがバイパスされます。TALK モードを終了するには、再度コントロール・ボタンを長押しします。

PRESET UP - プリセット・アップ
次のプリセットに切り替えます。

LOOP - ループ
RECORD（録音）／ PLAY（再生）／ UNDO（やり直し）と言ったループ・モードでの操作が可能となります。

TONE STYLE - トーン・スタイル・パラメーター

アダプティブ・トーン（EQ + コンプ + ノイズゲート）のスタイルを指定します。

OFF - オフ
トーン・スタイル適用なし

NORMAL - ノーマル
「ボトム」「ミッド」「エア」EQ、軽いコンプレッション、そして若干のゲート処理が施されます。ゲートは、フィードバック対策として低レベルの信号をさらに下げます。

LESS BRIGHT - 高域抑えめ
NORMAL に比べ、高域を少し抑え気味の EQ を施します。

NORM+WARMTH - ノーマル＋ウォームス
NORMAL に近いものの、中域を少し持ち上げ、温かみのある声に仕立てます。

MORE COMP - コンプ強め
通常の EQ とゲート処理に加えて、強めのコンプを適用します。歌のダイナミック・レンジが広い楽曲に適しています。

NORM NO GATE - ゲートなし
NORMAL からノイズゲートを除いた設定です。

LESS BRIGHT NG - 高域抑えめ、ゲートなし
LESS BRIGHT からノイズゲートを除いた設定です。

WARMTH NG - ウォームス、ゲートなし
NORM ＋ WARMTH からノイズゲートを除いた設定です。

MORE COMP NG - コンプ強め、ゲートなし
MORE COMP からノイズゲートを除いた設定です。

ピッチ補正

PITCH COR AMT - ピッチ補正適用量

Play Acousticが声に対して施すピッチ補正の適用量を設定します。

ピッチ補正を適用しながら自然なサウンドに仕上げたい場合は、適用量を 50％以下で使用してみてください。強制ピッチ補正の独特な効果を得たい場合は、適用量を 100％近くに設定するか、HardTune エフェクト・ブロックを使ってみましょう。

HardTune を使用すると、Pitch Cor Amt の設定は一時的に無効となります。

ピッチ補正とモニタリング時のダブリング
ピッチ補正を初めて使う場合、声がダブリングされて聴こえてくる錯覚を覚えるかも知れません。これはピッチ補正によって修正された声と、自分の元の声の音程のズレにより発生する現象です。この錯覚は、ピッチ補正を使っていくうちに慣れてくるでしょう。またオーディエンスにはこのダブリング効果は聴き取れないので、安心してご使用ください。

ピッチ補正時のフェイズ効果についての詳細は、Craig's Corner の次のビデオをご参照ください（英語のみ）。
youtube.com/watch?v=KWrEluiDXsA

OUTPUT - アウトプット・ページ (2/7)

OUTPUT - アウトプット・パラメーター
本項目では、Play AcousticのXLR出力の動作を設定します。

VOCAL/GUITAR（DI）- ヴォーカル／ギター（DI）
声とAUXが1つのXLRアウトから、ギターがもう1つのXLRアウトから出力されます。

STEREO - ステレオ
声、ギター、AUX全てのステレオ・ミックスが両方のXLRアウトからステレオ出力されます。

MONO - モノラル
- エフェクトの掛かった声とギターの信号が左XLRアウトから出力されます。
- ドライ・ヴォーカルにトーンとピッチ補正（INPUTページのPitch Cor Amtパラメーターを0以外の数値に設定している場合）が施された信号が右XLRアウトから出力されます。

VOCAL CANCEL - ヴォーカル･キャンセル機能
AUX入力から入力された音声から、カラオケ・トラックを作成します。

OFF - オフ
AUXインプット信号に対してヴォーカル・キャンセルを行いません。

ON - オン
AUX入力から入力された音声から、リード・ヴォーカルを除くヴォーカル・キャンセル処理を行います。

カラオケ・トラックの作成と同時に、ハーモニー生成のためのキー情報も生成されます。

楽曲のミックスやボーカル成分の周波数分布によってその効果は異なります。楽曲から完全にボーカル成分を除去することは不可能ですので、予めご了承ください。

LEAD MUTE - リード･ミュート･パラメーター
リード・ヴォーカルをミュートし、エフェクト処理された音声のみを出力します。

OFF - オフ
リード・ヴォーカルはメイン・ミックスにルーティングされます。

ON - オン
メイン・ミックスからリード・ヴォーカルが除去されます。

HEADPHONE LIM - ヘッドフォン・リミッター・パラメーター
ボリュームの大幅な増加、スパイク音、マイクを落とした際の衝撃音といった音から耳を保護するためのヘッドフォン･リミッターを内蔵しています。本項目は、ヘッドフォン出力リミッターの作動開始ポイントを設定します。

デフォルト値である0 dBに近いほど、ヘッドフォン出力レベルは高くなります。必要な保護の度合いに応じて設定値を決めてください。

ヘッドフォンまたはインイア・モニターを使用する場合、大音量では耳に恒久的なダメージを与える可能性がありますので、十分にご注意ください。

SYSTEM - システム・ページ (3/7)

LCD CONTRAST - LCD コントラスト・パラメーター

LCD ディスプレイのコントラスト濃淡を調整します。部屋の明るさによって、設定による効果は異なります。

UP/DN - ▲ UP ／▼ DOWN スイッチ機能設定

▲ UP ／▼ DOWN スイッチを同時に長押しした時の動作を設定します。

Play Acousticの PEDAL コネクターに TC-Helicon Switch-3 を接続すると、▲ UP ／▼ DOWN スイッチのデフォルトの機能は LOOP から SET KEY に変わる点にご留意ください。

LOOPING - ループ・モード

▲ UP ／▼ DOWN スイッチの同時長押しは、ループ・モードへのアクセスと、ループ・モードの終了に割り当てられます。

SET KEY - キー指定

▲ UP ／▼ DOWN スイッチの同時長押しは、キー／スケール設定モードへのアクセスに割り当てられます。キー／スケール設定モードでは、手動でキーとスケールを変更できます。

LEAD DLY - リード・ディレイ・パラメーター

ヴォーカルにエフェクト処理を施す際には、内部で処理遅延が発生します。この処理遅延時間を補填するために、リード・ヴォーカルの信号を遅らせるかどうかを設定します。

この処理を行うことにより、完璧なタイミングでハーモニーなどの効果をリード・ヴォーカルに同期させることが可能となります。

NONE - なし

リード・ヴォーカルに対して遅延処理を行いません。

VOICE SYNC - ヴォーカル・シンクロ

全エフェクトをオンにした時に発生し得る最大の処理遅延時間をリード・ヴォーカルに対して適用します。

AUTO - 自動

現在有効となっているエフェクト・ブロックで発生し得る処理遅延時間をリード・ヴォーカルに対して付加します。使用されるエフェクト·ブロック数に合わせて、処理遅延時間を自動的にリード・ヴォーカルに適用していきます。

TUNE REFERENCE - 基準ピッチ・パラメーター

ギター・チューナーとハーモニー／ HardTune エフェクトのリファレンス・ピッチを 0.5 セント単位で変更できます。初期設定値は 440 Hz になります。

AUX TO MAIN OUT - AUX →メイン・アウト・パラメーター

AUX 信号を XLR 出力に送るかを指定します。インイア・モニタリング時等で、AUX 信号をヘッドフォンのみから出力させたい場合にはオフにします。AUX インプットに送ったモニタリング用のフルミックスをヘッドフォンまたはインイア・モニターのみに出力する、といった使い方ができます。

AUX IN TYPE - AUX 入力タイプ·パラメーター

ハーモニー・エフェクトをより正確に生成するために、AUX 入力端子から外部音声を取り込みます。

LIVE - ライブ

ライブで使用する場合、もしくは DAW からヴォーカル·ガイドトラックを流し込む際に選択します。

TRACKS - トラック

音楽プレイヤーなどから既存曲を流し込む際に選択します。

MONITOR - モニター

メイン出力から AUX 信号を出力しません。AUX 信号をヘッドフォンのみで聴き、PA に送りたくない場合に選択します。インイア・モニタリング用途等に適した設定です。

TC-Helicon **ギター／ヘッドフォン・ケーブル**を使用すると、一本のケーブルでギターとヘッドフォン信号の配線を行えます。製品情報：

tc-helicon.com/products/guitar-headphone-cable/

SYSTEM page 2 - システム・ページ 2 (4/7)

GLOBAL KEY - グローバル・キー・パラメーター

ハーモニー生成、及びピッチ補正を行う際にキー情報の参照元を設定します。

OFF - オフ

キー情報はプリセット毎に、直接キー指定（C、D、F# 等）、ギター・イン、RoomSense マイク、もしくは AUX にて設定できます。

ON - オン

あるプリセット内でキーが設定されると、他のプリセットに移動しても、設定されたキーが継承されます。

GLOBAL TEMPO - グローバル・テンポ・パラメーター

テンポ情報の参照元を設定します。

OFF - オフ

テンポ情報はプリセット毎に設定できます。

ON - オン

あるプリセット内でテンポが設定されると、他のプリセットに移動しても、設定されたテンポが継承されます。

ROOMSENSE LOCUT - ROOMSENSE ローカット・パラメーター

RoomSense マイクの低域をカットします。

環境や状況によって、音がこもって聴こえる場合に、このハイパス・フィルターで低域をカットすることができます。

GUITAR GATE - ギター・ゲート・パラメーター

ギター入力のゲートのスレッショルドを指定します。ここで設定するスレッショルド値は、ノイズゲートを始動させるレベルを意味します。

ギター用のゲートは、ギター本体に由来するノイズを入力段で抑制します。信号が極めて低いレベルにある時に音をミュートすることで、演奏していない時のノイズを除去します。

スレッショルドはデフォルトで低めに設定されています。スレッショルド値を上げれば上げるほどわずかなノイズでもノイズゲートが有効になる反面、ギターのサステインが短くなるなど不自然な結果になりますのでご注意ください。休符で区切られたコード・シーケンス等を演奏する際には、高めの設定が効果的となることがあります。

MIC BOOST - マイク・ブースト

声量が小さめのシンガー向けに、マイクのゲインを上げられます。

必要に応じて、+6（LOW - ロー）または +12（HIGH - ハイ）dB のゲインを与えられます。デフォルトの設定値は +6（LOW）dB です。

BODYREZ EDITING - BODYREZ エディット・パラメーター

BASIC - 基本

BodyRez の基本ページのみが表示されます。アドバンスド・ページは非表示となります。

ADVANCED - アドバンスド

BodyRez の基本ページとアドバンスド・ページが両方表示されます。

LOOP - ループ・ページ (5/7)

INPUT - インプット・パラメーター

ループ録音を行う入力ソースを指定します。次の選択肢が用意されています。

- GUITAR - ギター：ギターの信号がループに記録されます。
- LEAD - リード：リード・ヴォーカルの信号がループに記録されます。
- AUX：AUX 信号がループに記録されます。
- LEAD + GUITAR - リード＋ギター：ヴォーカルとギターの信号がループに記録されます。
- LEAD + AUX - リード＋ AUX：ヴォーカルと AUX 信号がループに記録されます。
- GUITAR + AUX - ギター＋ AUX：ギターと AUX 信号がループに記録されます。
- ALL - 全て：全入力ソースの信号がループに記録されます。

UNDO - アンドゥ（やり直し）パラメーター

Undo（やり直し）操作の有効／無効を設定します。

ON - オン

ループに対して行われた最後の変更内容をやり直すことができます。一般的には、オーバーダビングした内容をやり直したい時に使用します。アンドゥ後に再度 UNDO を押すと、アンドゥした内容が復帰します（別のオーバーダブを重ねていない場合のみ）。

オン時のループ時間は最大 15 秒です。

OFF - オフ

ループのアンドゥ操作を無効にします。

これによりループ領域用に確保されているメモリーをフルに活用することが可能となり、最大 30 秒のループを作成することが可能となります。

LOOP FEEDBACK - ループ・フィードバック・パラメーター

多重レイヤーで構成されるループを作成する時、録音した 100％の音量のままループを再生し続けると、レイヤーが増えるにつれ当然ループの音量も上がり続けます。その結果ループ音量が出力能力を超え、歪みノイズが発生します。このノイズ発生を防ぐために、ループ・フィードバック量を設定します。

新規ループ･レイヤーは100％の音量で録音されますが、既存のループは設定されたフィードバック音量でミックスされます。

ループ・フィードバック量はデフォルトの設定である「98％」がひとつの目安になりますが、ループの使い方に合わせてご自分に適した値を見つけてください。

Switch-3 ページ (6/7)

CONTROL - コントロール・パラメーター

Switch-3（別売オプション）は、TC-Helicon 機器用の高品質外部フットスイッチです。ここで、接続した Switch-3 の機能割り当てを指定します。

LOOP MODE - ループ・モード

この設定における Switch-3 の機能割り当ては次の通りです。

- スイッチ 1 = ループ録音／再生／オーバーダブ
- スイッチ 2 = ループ停止／クリア（長押し時）
- スイッチ 3 = ループ・アンドゥ

CUSTOM - カスタム

Switch-3 の機能割り当てをユーザー設定できます。

「SWITCH1」「SWITCH2」「SWITCH3」隣のソフト・ボタンを押して割り当てを指定するスイッチを選び、次にコントロール・ノブで割り当てる機能を指定します。

選択肢は次の通りです。

- Loop Rec/Play - ループ録音／再生
- Loop Stop/Clear - ループ停止／クリア
- Loop Undo - ループ・アンドゥ
- Loop Start/Stop - ループ再生／停止
- 1 Btn Looper - 1 ボタン・ルーパー
- Tap Tempo - タップ・テンポ
- Set Key - キー指定
- Preset Down - プリセット・ダウン
- Preset Up - プリセット・アップ
- Hit
- Harmony - ハーモニー
- Harm Moment - ハーモニー・モメンタリー
- Doubling - ダブリング
- Delay - ディレイ
- Delay Moment - ディレイ・モメンタリー
- Reverb - リバーブ
- HardTune
- Transducer - トランスデューサー
- µMod
- Gtr Amp - ギター・アンプ・シミュレーション
- Gtr Boost - ギター・ブースト
- Gtr Compressor - ギター・コンプレッサー
- Gtr µMod - ギター µMod
- Gtr Delay - ギター・ディレイ
- Gtr Reverb - ギター・リバーブ

HARM MOMENT と DELAY MOMENT

HARM MOMENT と DELAY MOMENT パラメーターは他の選択オプションとは若干振る舞いが異なります。

HARM MOMENT または DELAY MOMENT を選ぶと、フットスイッチを踏んでいる間だけハーモニーまたはディレイがオンになり、足を離すとオフになります。

1 BTN LOOPER - 1 ボタン・ルーパー

フットスイッチ 1 つでルーパーの基本的な機能をコントロールします。この設定を使用することで、余った 2 つのフットスイッチに他の機能を割り当てることが可能になります。

- ループが録音されていない場合、フットスイッチをタップすると録音が開始します。
- 再度フットスイッチをタップするとループ長が決まり、ループの再生に切り替わります。
- ループの再生中に再度フットスイッチをタップすると、オーバーダブが開始します。
- フットスイッチをホールド（長押し）すると、直近のオーバーダブがアンドゥされます。 再度フットスイッチをホールドすると、アンドゥしたオーバーダブがリドゥされます。
- フットスイッチを 2 回タップすると、停止します。停止時には、音の短い断片が録音される点にご注意ください。
- フットスイッチをタップすると再生、ホールドするとループが消去されます。

ヒント：Play Acousticをスタンド上で使用する場合、Switch-3のカスタム割り当てを「PRESET DN」「PRESET UP」「HIT」に設定することで、フットスイッチの割り当てと同じにできます。

SYSTEM INFO - システム情報ページ (7/7)

SYSTEM INFO ページは、次の情報を表示します。

- ファームウェア・バージョン
- シリアルナンバー
- 製造日

弊社サポートに連絡する際には、これらの情報をお手元に控えておいてください。サポート連絡先については、「サポート情報」セクションをご参照ください。

VOCAL FX - ヴォーカル・エフェクト・ボタン／セクション

VOCAL FX ボタンを押すと、ヴォーカル・エフェクト・メニューが開きます。ヴォーカル･エフェクト･メニューは、7 つのページで構成されます。ヴォーカル・エフェクト・ブロック毎に、ページが割り当てられています。

CONTROL（コントロール）パラメーターは、全てのエフェクト・ページに共通しています。

CONTROL - コントロール・パラメーター

エフェクトのオン／オフを切り替えます。

OFF - オフ
エフェクト・ブロックは無効となり、エフェクト処理は行われません。

ON - オン
エフェクト･ブロックは有効となり、エフェクト･ブロック内で選択されているスタイルのエフェクト処理が行われます。

HIT
Play Acousticの HIT ボタン、もしくは MicControl 対応マイクのコントロール･ボタンを操作した場合にエフェクト・ブロック内で指定した処理がオンになります。オン時には HIT ボタンが点灯します。

MicControl 機能についての詳細は、セットアップ・セクションをご参照ください。

HARMONY - ハーモニー・ページ (1/7)

リード・ヴォーカルに対して自動でハーモニーを生成するエフェクトです。2 声まで加えられます。

STYLE - スタイル・パラメーター

ハーモニーの声数、及びハーモニーの演出スタイルが選べます。

選択肢は次の通りです。

- High
- Higher
- Low
- Lower
- Octave Up
- Octave Down
- High & Low
- High & Higher
- High & Lower
- Higher & Lower
- Higher & Low
- Lower & Low
- Oct Down & Up
- Oct Down & Higher
- Oct Down & High
- Oct Down & Low
- Oct Down & Lower
- Oct Up & Higher
- Oct Up & High
- Oct Up & Low
- Oct Up & Lower
- +7 Semitones
- -5 Semitones
- +7 & -5 Semitones
- +12 & +7 Semitones
- +12 & -5 Semitones
- -12 & +7 Semitones
- -12 & -5 semitones

LEVEL - エフェクト・レベル・パラメーター

ハーモニー全体のレベルを調整します。

このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の一番上のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。

本エフェクト・ブロックの最大レベルは 0 dB となります。

KEY - キー・パラメーター

ハーモニー生成で最も重要なのは、キーを正しく設定することです。キー設定を間違えて設定すると、楽曲に対して不協和音のハーモニーが生成されてしまいますのでご注意ください。キーの設定方法には次の 2 種類があります。

AUTO - 自動

次の優先順位で、入力信号から自動的にキー情報を検出します。

- ギター入力
- AUX 入力
- RoomSense 内蔵マイク

ギターと AUX IN を同時に使用している場合は、ギターの信号が優先されます。AUX 信号が継続している状態でギターの演奏を止めると、本体はコード情報を次の優先順位にある AUX 信号から検出しようと試みます。

KEY - キー設定

手動で楽曲のキーを設定します。キーは 12 段階(C ~ B)で設定可能です。

HARMONY ADVANCED - ハーモニー（アドバンス）ページ

ハーモニーの詳細パラメーターを調整したい場合は、ディスプレイ横で青色に点灯しているボタンをどれか長押しし、ADVANCED モードに入ります。ADVANCED ページを終了するには、BACK ボタンを押します。

SCALE - スケール・パラメーター

キー設定が AUTO（自動）ではなくマニュアル・モードの時、キーに対してスケール選択が可能です。

選択肢は次の通りです。

- Major 1
- Major 2
- Major 3
- Minor 1
- Minor 2
- Minor 3

詳細な情報は、「TC-Helicon スケール表」をご参照ください。この表は 、support.tc-helicon.com/entries/21051886-scale-chart-for-TC-helicon-products/ でもご覧いただけます。

PORTAMENTO - ポルタメント・パラメーター

ポルタメントは、一つの音程から次の音程に移る際に音程をスライドさせる効果です。設定値が高い程音程間はつながり、オフの状態では 2 つの音程が独立した音程で発音されます。

- 0 ＝ポルタメント・オフ、
- 100 ＝最大の適用量

ヒューマナイズとポルタメントは、高すぎる設定値では極めて不自然に聞こえます。通常は、低めの値の方が良い結果が得られます。

HUMANIZE - ヒューマナイズ・パラメーター

ヒューマナイズとは「人間味を与える」という意味を持ち、ハーモニー・ヴォイスに音程やタイミングに異なる特性の変化が与えられます。

生成されたハーモニーが機械的に聞こえないように、意図的に精度を落とす処理であるとも解釈できます。

- 0 ＝ヒューマナイズ・オフ、
- 100 ＝最大の適用量

DOUBLE - ダブリング・ページ (2/7)

「ダブリング」や「シッケニング」と呼ばれる本エフェクトは、リード・ヴォーカルに対してユニゾン・ボーカルを複数足し、微量なタイミングと音色の変化を加えることで、厚みを持たせヌケを良くし、存在感を持ち上げるエフェクトです。

STYLE - スタイル・パラメーター

ダブリング・ヴォイスの声数とタイミングが異なるスタイルが選択可能です。

選択肢は次の通りです。

- 1 Voice Tight* - 1 ヴォイス・タイト
- 1 Voice Loose* - 1 ヴォイス・ルーズ
- 2 Voices Tight* - 2 ヴォイス・タイト
- 2 Voices Loose* - 2 ヴォイス・ルーズ
- Shout - シャウト
- 1 Voice Oct Up - 1 ヴォイス・オクターブ・アップ
- 1 Voice Oct Down - 1 ヴォイス・オクターブ・ダウン
- 2 Voices Oct Up - 2 ヴォイス・オクターブ・アップ
- 2 Voices Oct Down - 2 ヴォイス・オクターブ・ダウン
- Oct Up & Oct Down - オクターブ･アップ＆オクターブ・ダウン

* 「タイト」と「ルーズ」は、リード・ヴォーカルとダブリングのタイミング精度のことを示します。ルーズなタイミングの方がエフェクト感が強く、おおらかな印象を与えることがあります。

LEVEL - エフェクト・レベル・パラメーター

ダブリング・エフェクトの全体的なレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の上のソフト・ボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは 0 dB となります。

DELAY - ディレイ・ページ (3/7)

ディレイ・エフェクトは、入力信号を反復し、いわゆる「山びこ」効果を演出するエフェクトです。

STYLE - スタイル・パラメーター

エフェクト・ブロック内に用意されているエフェクトのスタイルを選択します。エフェクト・スタイル選択ページにアクセスするには、ディスプレイ左側に配置されている一番下のソフト・ボタンを押します。左側で唯一点灯しているボタンとなります。

選択肢は次の通りです。

- Quarter - 四分音符
- Eighth - 八分音符
- Triplet - 三連
- Dotted 1/8th - 付点八分音符
- Dotted 1/4 - 付点四分音符
- 1/4 Triplet - 三連四分音符
- Sixteenth - 16 分音符
- Ping Pong 1 - ピンポン 1
- Ping Pong 2 - ピンポン 2
- Ping Pong 3 - ピンポン 3
- Multitap 1 - マルチタップ 1
- Multitap 2 - マルチタップ 2
- Multitap 3 - マルチタップ 3
- Multitap 4 - マルチタップ 4
- Multitap 5 - マルチタップ 5
- Multitap 6 - マルチタップ 6
- Classic Slap - クラシック・スラップ
- Set Time - タイム指定

LEVEL - エフェクト・レベル・パラメーター

ディレイ・エフェクトの全体的なレベルを指定します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の上のソフト・ボタンを押します。パラメーター値はコントロール･ノブで変更します。本エフェクト･ブロックの最大レベルは 0 dB となります。

FEEDBACK - フィードバック・パラメーター

ディレイ成分を入力に循環させる量を設定します。この値が高いほど、ディレイ・エフェクトが長く持続します。

DELAY ADVANCED – ディレイ（アドバンス）ページ

ディレイの詳細パラメーターを調整したい場合は、ディスプレイ横で青色に点灯しているボタンをどれか長押しし、ADVANCED モードに入ります。ADVANCED ページを終了するには、BACK ボタンを押します。

DLY FILTER STYLE - ディレイ・フィルター・スタイル・パラメーター

ディレイ信号にフィルターを施すことでエフェクトの特徴を変えられます。

選択肢は次の通りです。

- Digital - デジタル
- Tape - テープ
- Analog - アナログ
- Radio - ラジオ
- Megaphone - メガホン
- Cell Phone - 携帯電話
- Lo Fi - ローファイ
- Hi Cut 1 - ハイカット 1
- Hi Cut 2 - ハイカット 2
- Hi Cut 3 - ハイカット 3
- Low Cut 1 - ローカット 1
- Low Cut 2 - ローカット 2
- Low Cut 3 - ローカット 3

フィルター・スタイルには、MEGAPHONE（メガホン）のように原音の音が変わってディレイ成分は一定のものと、ANALOG（アナログ）のようにディレイ成分が反復する度に音が変わっていくものがあります。

それぞれの効果を耳で確認しながらお好みのものをお探しください。

TEMPO - テンポ・パラメーター

ディレイ・エフェクトのテンポを手動で設定できます。

テンポの設定はプリセット毎に保存可能です。GLOBAL TEMPO（グローバル・テンポ）がオンに設定されている場合は、全プリセットがグローバル・テンポの基準に設定されたプリセットのテンポに追従します（保存されている設定が上書きされることはありません）。

SLAP（スラップ）または TIME（タイム）を選択すると、ディレイの指定は実時間となり、TEMPO の代わりに TIME（タイム）と表示されます。この場合の設定の単位は ms（ミリ秒）です。

REVERB - リバーブ・ページ (4/7)

声に空間的な奥行きを与える残響エフェクトです。

STYLE - スタイル・パラメーター

疑似空間の広さと素材が選べます。

選択肢は次の通りです。

- Smooth Plate
- Reflection Plate
- Thin Plate
- Bright Plate
- Real Plate
- Real Plate Long
- Jazz Plate
- Quick Plate
- Soft Hall
- Amsterdam Hall
- Broadway Hall
- Snappy Room
- Library
- Dark Room
- Music Club
- Studio Room
- Warehouse
- Bouncy Room
- Cozy Corner
- Bright Chamber
- Wooden Chamber
- St. Joseph Church
- Dome Chapel
- Hockey Arena
- Museum
- Indoor Arena
- Warehouse
- Thin Spring
- Full Spring

LEVEL - エフェクト・レベル・パラメーター

リバーブ・エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の上のソフト・ボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは 0 dB となります。

DECAY - ディケイ・パラメーター

リバーブ効果が消えるまでの減衰時間を調整します。長い設定では広い空間を、短い設定では狭い空間を擬似的に演出できます。

リバーブ・スタイルはそれぞれ固有のディケイ・タイムを持ちますが、この設定は変更できます。

HardTune ページ (5/7)

一般的に「シェール効果」、「オートチューン」、もしくは「ケロケロボイス」と呼ばれている特殊な効果を演出できます。

しかしながら、このエフェクト・ブロックは機械的なサウンド専用ではなく、スケール・ベースのナチュラルなピッチ補正も行えます。

STYLE - スタイル・パラメーター

HardTune エフェクトの精度、スピード、そして強制の度合いの異なるスタイルが選択できます。

選択肢は次の通りです。

- Pop
- Country Gliss
- Robot
- Correct Natural
- Correct Chromatic (not scale based)
- Drone
- Gender Bender

SHIFT - シフト・パラメーター

入力音声の音程に対して、直近のセミトーン（半音）に強制的にピッチを補正します。補正ポイントはリード・ヴォーカルに対して上下各方向に 36 セミトーン用意されています。

GENDER - ジェンダー（性別）パラメーター

声の性別をより女性的／男性的に変更することが可能です。極端な設定では不自然な結果になりますが、場合によってはそれをひとつの演出として効果的に使うのも面白いかも知れません。

TRANSDUCER - トランスデューサー・ページ (6/7)

歪みとフィルター処理の組み合わせで、メガホン・ボイスなどの過激なエフェクトを生成します。

STYLE - スタイル・パラメーター

エフェクトのスタイルを設定します。

選択肢は次の通りです。

- Megaphone - メガホン
- Radio - ラジオ
- On The Phone - 電話
- Overdrive - オーバードライブ
- Buzz Cut - バズカット
- Stack - スタック
- Tweed - ツイード
- Combo - コンボ

DRIVE - ドライブ・パラメーター

音声信号に付加するオーバードライブの適用量を調整します。値が大きいほど歪みの量が増えます。

FILTER - フィルター・パラメーター

「細い」「こもった」等、EQ フィルターの効きを調節します。スタイルによってフィルター効果は異なります。

TRANSDUCER ADVANCED - トランスデューサー（アドバンスド）ページ

トランスデューサーの詳細パラメーターを調整したい場合は、ディスプレイ横で青色に点灯しているボタンをどれか長押しし、ADVANCED モードに入ります。ADVANCED ページは次のパラメーターで構成されます。

ROUTING - ルーティング・パラメーター

選択されたオーディオ・パスにエフェクト処理を行います。

OUTPUT - アウトプット
リード・ヴォーカル、及びすべてのヴォイシング（ハーモニー／ダブリング等）にエフェクトを適用します。

FX - エフェクト
エフェクト成分（ディレイ成分など）にのみ、トランスデューサー・エフェクトを適用します。

GATE THRESHOLD - ゲート・スレッショルド・パラメーター

トランスデューサーは PA やモニター経由でのフィードバックが発生しやすいエフェクトのため、独自のノイズゲートを装備しております。

スレッショルド値を高めに設定しておくと、高レベルの入力があった場合にのみエフェクトが作動するようになり、歌っていない箇所などでフィードバックが起こりにくくなります。

フィードバックとその対策については、Craig's Corner の次のビデオをご参照ください（英語のみ）。

youtube.com/watch?v=VIN1RJ4gcAo

GAIN - ゲイン・パラメーター

トランスデューサー・エフェクトの全体的なレベルを調整します。

μMod ページ (7/7)

μMod は「マイクロ・モジュレーション」の略で、μMod エフェクト・ブロックには、フランジャー、フェイザー、パンナー、回転スピーカーなどのエフェクトが用意されています。

STYLE - スタイル・パラメーター

μMod エフェクトのスタイルを設定します。

選択肢は次の通りです。

- Micromod Clone
- Micromod Wider
- Thicken
- Light Chorus
- Medium Chorus
- Wide Chorus
- Mono Chorus
- Fast Rotor
- Panner
- Flanger
- Flange Feedback
- Flange Negative
- Mono Flange
- Soft Flange
- Tube
- Up Tube
- Down Tube
- Down & Up Tube
- Rise and Fall
- Auto Wah
- Underwater
- Cylon Mono
- Cylon Stereo
- Alien Voiceover

LEVEL - エフェクト・レベル・パラメーター

μMod エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の真ん中のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは 0 dB となります。

SPEED - スピード・パラメーター

エフェクトのモジュレーションの速度を調整します。

GUITAR FX - ギター・エフェクト・ボタン／セクション

GUITAR FX ボタンを押すと、ギター・エフェクト・メニューが開きます。ギター・エフェクト・メニューは、5 つのページで構成されます。ギター・エフェクト・ブロック毎に、ページが割り当てられています。

ギター・エフェクトの扱い方は、ヴォーカル・エフェクトと同様です（「VOCAL FX - ヴォーカル・エフェクト・ボタン／セクション」セクション参照）。

Play Acoustic では、ギターのサウンド関連の設定はグローバルな扱いとなります。プリセットを変更しても、ギターのサウンドは変わりません。

本セクションのいくつかのページは、SETUP メニューの BODYREZ EDITING パラメーターを「ADVANCED」に設定しないと表示されません。それによって、ページ番号も異なります。BODYREZ EDITING パラメーターを「BASIC」にしている場合は、最初のページは「1/7」ではなく、「1/4」となります。

各ギター・エフェクトには、VOCAL FX セクション同様に、CONTROL パラメーターが用意されています。ギター・エフェクトにおけるこのパラメーターの設定オプションはオンとオフのみとなり、HIT はありません。

GUITAR REVERB - ギター・リバーブ・ページ (1/7)

信号に空間的な奥行きを与える残響エフェクトです。

STYLE - スタイル・パラメーター

疑似空間の広さと素材が選べます。

選択肢は次の通りです。

- Hall of Fame – Hall
- Hall of Fame – Plate
- Hall of Fame – Room
- Hall of Fame – Church
- Hall of Fame – Spring
- Hall of Fame – Ambience
- Hall of Fame – Lofi
- Hall of Fame – Tile
- Smooth Plate
- Reflection Plate
- Thin Plate
- Bright Plate
- Real Plate
- Real Plate Long
- Jazz Plate
- Quick Plate
- Soft Hall
- Amsterdam Hall
- Broadway Hall
- Snappy Room
- Library
- Dark Room
- Music Club
- Studio Room
- Bouncy Room
- Cozy Corner
- Bright Chamber
- Wooden Chamber
- St. Joseph Church
- Dome Chapel
- Hockey Arena
- Museum
- Indoor Arena
- Warehouse
- Thin Spring
- Full Spring

LEVEL - エフェクト・レベル・パラメーター

リバーブ・エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の真ん中のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。

本エフェクト・ブロックの最大レベルは 0 dB となります。

DECAY - ディケイ・パラメーター

リバーブ効果が消えるまでの減衰時間を調整します。長い設定では広い空間を、短い設定では狭い空間を擬似的に演出できます。

リバーブ・スタイルはそれぞれ固有のディケイ・タイムを持ちますが、この設定は変更できます。

PRE DELAY - プリディレイ・パラメーター

ディレイのテール成分の生成が開始されるまでの時間を指定します。

GUITAR μMOD - ギター μMOD ページ (2/7)

同名のヴォーカル・エフェクト同様に、ギターの μMod エフェクト・ブロックは、サウンドに深みと厚みを与えるピッチとタイミングの微細な揺れを加えます。μMod は「マイクロ・モジュレーション」の略です。

STYLE - スタイル・パラメーター

μMod エフェクトのスタイルを設定します。

選択肢は次の通りです。

- Corona 12:00 – TC エレクトロニック Corona Chorus をベースとしたエフェクト
- Corona Fast
- Corona Slow
- Silky Detune
- Medium Detune
- Mono Chorus

LEVEL - エフェクト・レベル・パラメーター

μMod エフェクトの効きの強さを調節します。

SPEED - スピード・パラメーター

エフェクトのモジュレーションの速度を調整します。

DEPTH - デプス・パラメーター

モジュレーションの振幅を調節します。

BODYREZ EQ - BodyRez EQページ (3/7)

BodyRez は Play Acoustic にのみ搭載されている機能で、ギターマウントのピックアップを部屋でマイキングされたサウンドに近づけるための EQ ／コンプレッション／アンビエンス処理を行います。

STYLE - スタイル・パラメーター

BodyRez のスタイルを選択します。

選択肢は次の通りです。

- Custom
- Flat
- Just Comp
- BodyRez 1
- BodyRez 2
- BodyRez 3
- BodyRez 4
- BodyRez 5

AMOUNT - 適用量パラメーター

BodyRez 処理の適用量を調節します。

10 以下の設定では、BodyRez（ADVANCED）ページにおける EQ ／コンプレッション／アンビエンス設定の設定レンジが制限されます。BodyRez（ADVANCED）ページへのアクセス方法は、「BODYREZ SHELF EQ - BodyRez シェルフ EQ ページ (4/7)」セクションをご参照ください。

LOW GAIN - ロー・ゲイン・パラメーター

選択している BodyRez スタイルの低域をコントロールします。

HI GAIN - ハイ・ゲイン・パラメーター

選択している BodyRez スタイルの高域をコントロールします。

BODYREZ SHELF EQ - BodyRez シェルフ EQ ページ (4/7)

このページは、デフォルトでは非表示となっています。アクセスするには、SETUP メニューの BODYREZ EDITING パラメーターを BASIC から ADVANCED の設定に変更します。

BodyRez エフェクト･ブロックのシェルフ EQ セクションはハイシェルフとローシェルフ EQ で構成され、それぞれ FREQUENCY（周波数）と GAIN（ゲイン）パラメーターを調整できます。

BODYREZ PARAMETRIC EQ - BodyRez パラメトリック EQ ページ (5/7)

このページは、デフォルトでは非表示となっています。アクセスするには、SETUP メニューの BODYREZ EDITING パラメーターを BASIC から ADVANCED の設定に変更します。

BodyRez エフェクト・ブロックのパラメトリック EQ セクションは 1 バンド構成で、FREQUENCY（周波数）／ BANDWIDTH（バンドワイズ）／ GAIN（ゲイン）パラメーターを調整できます。

BODYREZ COMPRESSOR - BodyRez コンプレッサー・ページ (6/7)

このページは、デフォルトでは非表示となっています。アクセスするには、SETUP メニューの BODYREZ EDITING パラメーターを BASIC から ADVANCED の設定に変更します。

コンプレッサーは、ギターのダイナミックレンジ制御、そしてアタックやサステインのエンハンス効果に使用できます。

THRESHOLD - スレッショルド・パラメーター

コンプレッサーが稼働しはじめる信号レベルのしきい値を指定します。スレッショルドの設定が低い程、コンプレッサーが早い段階から効き始めます。

ATTACK - アタック・パラメーター

ギターの入力がスレッショルドを上回った際に、RATIO（レシオ）コントロールで指定した量のコンプレッションに到達するまでの時間を指定します。

MAKEUP GAIN - メイクアップ・ゲイン・パラメーター

コンプレッサーはゲインの増加を抑える処理であり、その原理上、設定によって出力信号のレベルが変わります。ここで入出力のレベルを揃えることができます。

RATIO - レシオ・パラメーター

信号に施される圧縮比を指定します。スレッショルドのレベルを超えた信号について、出力を 1 dB 増加させるのに必要な入力の増加分、と解釈できます。例：

- THRESHOLD を -10 dB に設定します。
- RATIO を 4.0 に設定します。

コンプレッサーの入力のレベルが -6 dB になった場合は、その信号はスレッショルド値（-10 dB）を 4 dB 上回りますので、コンプレッサーが稼働します。コンプレッサーは、この 4 dB の増加分を、1 dB の増加に圧縮します。これがコンプレッションのレシオです。出力は、-10 dB から -9 dB に上がります。

RELEASE - リリース・パラメーター

入力信号レベルがスレッショルド値を下回った際に、コンプレッションが「解放」されて信号の圧縮が行われなくなるまでに要する時間を指定します。

AMBIENCE - BODYREZ アンビエンス・パラメーター

BodyRez エフェクト・ブロックのアンビエンス・セクションでは、タイミングの変化でアコースティックギターのボディーの共振をエミュレートします。AMOUNT（適用量）パラメーターで、アンビエンスの量を調整します。

GUITAR ANTI-FEEDBACK - ギター・アンチフィードバック・ページ (7/7)

ライブ環境では、アコースティックギターのオープンボディー構造は PA スピーカーやステージ・モニターといった近接する音源からのフィードバックを誘発しがちです。フィードバック対策用に次の項目が用意されています。

PHASE INVERT - 位相反転パラメーター

ギター信号の位相を 180 度反転させます。

アコースティックギターをステージ・モニター等のスピーカーの近くで弾く際に生じがちなフィードバックの防止に役立つことがあります。フィードバックが生じたら、最初にこの設定をお試しください。

LOW CUT FILTER - ローカット・フィルター・パラメーター

アコースティックギターは、低域での共振が生じがちです。低い周波数のフィードバックが生じた場合には、ここでローエンドをロールオフさせてみてください。

NOTCH FILTER - ノッチフィルター・セクション

フィードバックの周波数をピンポイントで抑え込むための、狭い帯域のイコライザーです。

NOTCH GAIN - ノッチ・ゲイン・パラメーター

FREQ パラメーターで指定した音程／周波数帯域のゲインを指定します。問題源の周波数に対して、マイナスの値（例：-8）を使用します。

フィードバックが生じている周波数を特定する一つの方法として、一度プラスの値（例：8）に設定してから FREQ を移動する手法があります。フィードバックが生じたら、FREQ の設定はそのままで、GAIN をマイナスの値に設定します。

NOTCH FREQ - ノッチ周波数パラメーター

ノッチフィルターの周波数を指定します。設定値は、周波数（Hz）と音程（A#、等）で表示されます。音程毎に、25 セント単位で調節できます。

多くの場合、どの指の弦が強く振動しているかで、フィードバックが生じている音程を特定することができます。FREQ パラメーターでその音程を指定して、GAIN パラメーターでゲインを下げます。

フィードバック対策の操作手順

- PHASE INVERT パラメーターをオンにします。これで解決しない場合には、次に進みます。
- GAIN パラメーターをプラス 8 以上の高い値に設定します。
- FREQ パラメーターを動かし、フィードバックが悪くなる周波数のポイントを探します。
- 問題の周波数を特定できたら、フィードバックが止まるまで GAIN パラメーターをマイナスの値に動かします。
- それでも解決しない場合は、次に解説する MIX セクションでギターのレベルを下げます。

MIX - ミックス・ボタン／セクション

MIX（ミックス）ボタンを押すと、Play Acousticの各音声信号のレベル調整が包括的に行えるミックス・メニューが開きます。

MIX - ミックス・ページ (1/2)

HARMONY - ハーモニー・パラメーター

ハーモニーやダブリングなどのボイシング・エフェクトの全体的なレベルを調整します。

GUITAR LEVEL - ギター･レベル･パラメーター

ギターの出力レベルを調整します。ギターの出力レベルは、SETUP メニュー内で設定できるギターの入力レベルと相関関係にあります。先にインプット・レベルを適切に設定してから、ここで全体的なギターの出力レベルを調整してください。

OUT LEVEL - アウト・レベル・パラメーター

Play AcousticElectric

DELAY/REVERB - ディレイ／リバーブ・パラメーター

ディレイ／リバーブ・エフェクトのレベルを調整します。ここでの設定は､全てのプリセットに適用されます。

演奏会場の音響的な理由などでディレイ／リバーブを全体的に増減させたい場合は、使用するプリセットを手動で一つずつ調整せずに、ここで一括しての量を調整できます。

HEADPHONE LEVEL - ヘッドフォン・レベル・パラメーター

ヘッドフォンに出力されるレベルを調整します。

ROOMSENSE - ROOMSENSE パラメーター

ヘッドフォン・ミックスに含める RoomSense のアンビエンスの量を調節します。ここで設定を行っても、RoomSense の信号はメイン・ミックスに送られません（フィードバックの原因となるため）。

AUX LEVEL - AUX レベル・パラメーター

このパラメーターは、AUX コネクターに接続がなされている場合にのみ表示されます。

AUX インプットの入力レベルを調整します。

AUX 信号をヘッドフォンのみから出力させたい場合は、SETUP/OUTPUT メニューの AUX TO MAIN OUT パラメーターをオフにします。

AUX インプットをコード情報の検知のみに使用して出力させたくない場合には、AUX LEVEL パラメーターをオフにします。

MIX - ミックス・ページ (2/2)

USB IN LEVEL - USB イン・レベル・パラメーター

バッキング・トラック等、USB 端子から入力される信号のレベルを調整します。

このパラメーターは、インプットを USB に設定して DAW からの信号を処理する場合には適用されません。DAW 側のトラック・コントロール類が出力レベル（すなわち、Play Acousticの USB インプット・レベル）を決めます。

USB OUT LEVEL - USB アウト・レベル・パラメーター

USB 端子から出力される信号のレベルを調整します。

接続先の入力でクリッピングが生じる場合には、この設定値を下げてください。

ルーパー

ルーピングとは？

ルーピングとは、比較的長尺の演奏内容を繰り返し再生しながら、音を重ねて行く表現手法です。「繰り返し再生」から想像される限界とは裏腹に、ルーピングの表現力は奏者またはシンガーが持ち合わせている演奏／歌唱技法を全て掛け合わせただけのポテンシャルを秘めているといえます。

ルーピングの基本コンセプト

Play Acousticを含むほとんどのルーパーは、シンプルなコントロール類で構成されます。基礎となるのは、録音、再生、そしてすでに録音されている音に対して追加で音を重ねるオーバーダブ、の 3 つの操作です。

Play Acousticルーパーの操作方法

LOOP（ループ）モード

▲ UP ／▼ DOWN スイッチを同時に長押しすると LOOP（ループ）モードに入ります。

LOOP モード・スクリーン

LOOP モード時における▼ DOWN スイッチの機能は次の通りです。

- PLAY（再生）
- REC（録音）
- OVERDUB（オーバーダブ）
- UNDO（アンドゥ：直近のオーバーダブが対象）

LOOP モード時における▲ UP スイッチの機能は次の通りです。

- STOP（停止）
- ERA（長押しで消去）

LOOP モードの終了

LOOP モードを終了するには HIT/TALK スイッチを押します。ループの再生中でも、LOOP モードを終了できます。ループの再生中に LOOP モードを一旦終了して、別のプリセットに切り替えてから LOOP モードに戻ってオーバーダブを重ねる、と言った操作が行えます。

基本ループの作成

- REC/PLAY/ODUB 機能をアサインしたフットスイッチを押し、録音を始めます。
- 再度フットスイッチを押すと録音は終了し、録音したばかりのループが繰り返し再生されます。
- 録音後にループの再生に移行せずに停止させるには、上記の代わりに STOP/ERA 機能をアサインしたフットスイッチを押します。
- 再度 REC/PLAY/ODUB スイッチを押すと、元のループに次の音を重ねるオーバーダブが開始されます。オーバーダブは、好きなだけ回数を重ねられます。

ループに録音される内容

ルーパーにより録音されるパートの指定は、SETUP メニューの LOOP INPUT パラメーターで行います。ギターのみを録音してヴォーカルは除外したり、その逆、あるいは両方を録音する、といった指定ができます。

 小節のコード進行があるとします。最初の 2 周はバースを歌い、3 周目からはギター・ソロを弾きたいとします。こういった場合、バースを歌いながらリズム･ギターのループを組むことで、ギター･ソロ･セクションに入った時にリズム・ギターのループをバッキングとして使用できます。

1. ルーパーがギターのみを録音するように設定します。
2. バース・セクションを通常通りに歌う・演奏します。
3. 演奏を続けながら、コード進行の 2 周目の頭でルーパーの REC スイッチを押します。
4. コード進行の終わりで、再度 REC を押します。途切れ目なく、録音した 8 小節ループの再生が始まります。
5. 再生されるループの上に、ギター･ソロを弾きます。
6. ソロ・セクションが終わったら、STOP/ERA スイッチを押してループの再生を停止させ、そのまま楽曲の次のセクションの歌・演奏を続けます。

この例は、ルーピングをライブパフォーマンスで使用する一番基本的な使い方です。どこからともなく追加のパートがさりげなく出現するのは、効果的な演出として各種応用できます。

ループ再生の停止

ループの再生を停止させるには、STOP/ERA フットスイッチを押します。

ループの消去

ループを完全に消去するには、STOP/ERA フットスイッチを長押しします。

ループのアンドゥとリドゥ

直近のオーバーダブをアンドゥ（取り消し）するには、▼ DOWN スイッチを長押しします。

アンドゥしたオーバーダブを復帰させる（リドゥする）には、再度▼ DOWN スイッチを長押しします。リドゥ操作は、アンドゥ後に別のオーバーダブを重ねていないことが条件となります。

アンドゥ／リドゥ機能は間違いの訂正のみならず、クリエイティブなツールとしても使えます。オーバーダビングの「前」「後」を 2 つのセクションとして扱い、それぞれを交互に切り替えることができます。簡単な例を紹介しましょう。最初に基本的なコード弾きのパートを録音してから、ギターでメロディーをオーバーダビングします。次に、アンドゥしてループをコードのみの状態に戻しながら、バース･セクションを歌います。バースの終点でリドゥを行えば、コーラス・セクションではギターのメロディー・パートを復活させることができます。

ルーピングのヒント

ルーピングを効果的に利用するには、練習がカギとなります。

PLAY/REC/ODUB ボタンを押すタイミングが正確でないと、ループの終点と開始点のつなぎ目でタイミングの細かいズレが生じてしまいます。途切れ目ないループを作成するには、スイッチを踏むタイミングをダウンビートに正確に合わせるように意識してください。

オーバーダビングを行う際には、ループの再生中に一旦ループ・モードから出て別のプリセットを選択することで、異なるヴォーカル・サウンドを重ねることが可能です。違うサウンドを重ねていくことで、表現の可能性が広がります。

オーバーダビングを重ねて行く際には、毎回ルーパーを停止・再生させなくても、複周回録音できます。こうしてオーバーダビングを行った後は、複数のパートを一度にアンドゥできます。

Switch-3 を使ったルーピング操作

Play Acousticに別売オプションの Switch-3 を接続することで、Switch-3 からループの操作を行い、Play Acoustic本体の▲ UP ／▼ DOWN スイッチを他の操作に使用することができます。▲ UP ／▼ DOWN スイッチをキー／スケール選択に使用するといった使用方法のみならず、ループ・モードを終了させることなくプリセットの変更が可能になります。

Switch-3 のスイッチ配列は次の通りです。

- REC/PLAY/ODUB（録音／再生／オーバーダブ）
- STOP/ERASE（停止／長押しで消去）
- UNDO（アンドゥ）

Switch-3 の使用時にはアンドゥ機能に専用のフットスイッチが割り当てられており、アンドゥ操作にスイッチを長押しする必要がありません。そのため、アンドゥ操作を正確なタイミングで行うことが可能になります。

SWITCH-3 使用時における PLAY ACOUSTIC 本体のフットスイッチの機能割り当て

Switch-3 を接続して Switch-3 をルーピング用に設定すると、Play Acousticの▲ UP ／▼ DOWN スイッチには自動的にキー／スケール選択機能が割り当てられます。

Switch-3 からのケーブルを抜くと、▲ UP ／▼ DOWN スイッチの機能割り当ては、Switch-3 接続前の状態に戻ります。

Switch-3 の製品情報は次の URL をご参照ください。
tc-helicon.com/products/switch-3/

トラブルシューティング

「故障かな？」と思ったら、まずは下記をご確認ください。

トラブルシューティング - 一般

音が出ません。

- インプット・ゲインを調整し、LED が緑色に点灯していることを確認してください。
- ヘッドフォン、もしくは PA システムに正しく接続されていることを確認してください。
- PA システムをご使用の場合：
  PA システムの配線が正しく結線されていて、電源がオンになっていることを確認してください。信号が正しく入力されていることを確認してください。
- コンデンサー・マイクをご使用の場合：
- セットアップ・メニューでマイクの種類が CONDENSER（コンデンサー）に設定されていることを確認してください。

ハーモニー･エフェクトが不協和音になります。

- キー／スケールの設定を行っているか、再度確認してください。
- キー／スケール設定が楽曲の内容に適切に設定されていることを確認してください。
- 内蔵 RoomSense マイクを使用してキー検知を行っている場合、楽曲の根幹となるコードを奏でている楽器の側に製品本体を設置してみてください。
- 音楽プレイヤーを AUX 入力に接続している場合、セットアップ・メニュー内の AUX IN TYPE（AUX 入力タイプ）が TRACKS（音楽トラック）に設定されていることを確認してください。（楽曲のミックスによってキー検知の精度は異なります）
- ギターからハーモニーをコントロールしたい場合は、HARMONY EFFECT（ハーモニー･エフェクト）ページの KEY（キー）が AUTO（自動）に設定されていることを確認してください。

エフェクトが反映されません。

- 製品本体が TALK/TUNER（トーク／チューナー）モードになっていないことをご確認ください。
- HIT スイッチ LED が点滅している場合、HIT スイッチを 1 回押して、通常の動作モードに戻してご使用ください。

プリセット内容を工場出荷状態に戻したい。

- VoiceSupport でカスタム・プリセットのバックアップを取った上で、電源投入時に、コントロール・ノブの両脇の左右矢印ボタンを同時に長押ししてください。**この操作を行うと全てのプリセット情報が工場出荷状態に戻り、復元できなくなりますのでご注意ください。**
- カスタム･プリセットは、VoiceSupport でバックアップしてください。

製品を初期化したい。

- 電源投入時に、BACK と STORE ボタンを同時に長押しします。
- この操作を行うと全てのプリセット、及びセットアップ情報が工場出荷状態に戻り、復元できなくなりますのでご注意ください。
- カスタム・プリセットとセットアップ・データは、事前に VoiceSupport でバックアップしておいてください。

VOICESUPPORT の使い方がよくわかりません。

- 次の URL をご参照ください。
  tc-helicon.com/products/voicesupport/support/

付録

TC-Helicon スケール表

C のキーにおける各スケールのハーモニー・ノートを示します。

スケール	インプット・ノート	C	Db	D	Eb	E	F	Gb	G	Ab	A	Bb	B
	選択ヴォイシング／インターバル												
Maj 1	3rd (High/Lower)	E	nc	F	nc	G	A	nc	B	nc	C	D	D
Maj 1	5th (Higher/Low)	G	nc	A	nc	B	C	nc	D	nc	E	F	F
Maj 2	3rd (High/Lower)	E	nc	F	nc	G	A	nc	C	nc	C	D	D
Maj 2	5th (Higher/Low)	G	nc	A	nc	C	C	nc	E	nc	E	F	F
Maj 3	3rd (High/Lower)	E	nc	F	nc	G	A	nc	Bb	nc	C	D	D
Maj 3	5th (Higher/Low)	G	nc	A	nc	Bb	C	nc	D	nc	E	F	F
Min 1	3rd (High/Lower)	Eb	nc	F	G	nc	Ab	nc	Bb	C	nc	D	nc
Min 1	5th (Higher/Low)	G	nc	Bb	Bb	nc	C	nc	D	Eb	nc	F	nc
Min 2	3rd (High/Lower)	Eb	nc	F	G	nc	A	nc	Bb	C	nc	D	nc
Min 2	5th (Higher/Low)	G	nc	A	Bb	nc	C	nc	D	Eb	nc	F	nc
Min 3	3rd (High/Lower)	Eb	nc	F	G	nc	Ab	nc	B	C	nc	D	nc
Min 3	5th (Higher/Low)	G	nc	A	Bb	nc	C	nc	D	Eb	nc	F	nc

灰色のセルは、スケール間の差異が生じるノートを示します。

「nc」は「no change（変化なし）」の略です。

リンク

サポート情報

FAQ ナレッジベースとフォーラムが用意されています。サポート・チケットを提出する前に、問題内容を検索してください。多くの問題の解決方法がすでに掲載されています。

- TC-Helicon サポート：
  tc-helicon.com/support/
- TC-Helicon ユーザー・フォーラム：
  support.tc-helicon.com/categories/20073491-User-Forum/
- TC-Helicon Play シリーズ・フォーラム：
  support.tc-helicon.com/forums/21577876-Play-Series/
- TC-Helicon 製品保証情報：
  tc-helicon.com/support/warranty/

TC-Helicon

- ウェブ：
  tc-helicon.com/
- Facebook：
  facebook.com/tchelicon
- Twitter：
  twitter.com/tchelicon
- YouTube：
  youtube.com/tchelicon

TC-Helicon ニュースレター

ニュースレターをご購読ください。TC-Helicon の製品情報、ニュースやアップデート、使用する上でのヒント等を含みます。

- tc-helicon.com/subscribe

仕様

機能	
ヴォーカル・エフェクト	μMod ／ Delay - ディレイ／ Reverb - リバーブ／ Harmony - ハーモニー／ Double - ダブリング／ Transducer - トランスデューサー／ Tone - トーン／ HardTune & Correction - ハードチューン & ピッチ補正
ギター・エフェクト	Reverb - リバーブ（TC Electronic Hall of Fame Reverb 由来アルゴリズムを含む）／ μMod（TC Electronic Corona Chorus 由来アルゴリズムを含む）／ BodyRez EQ ／コンプレッション／アンビエンス／アンチフィードバック（手動コントロール）
VLOOP ™	
コントロール	▲ UP ／▼ DOWN ／ HIT フットスイッチ グラフィック LCD ディスプレイ マイク・レベル・ノブ 2 色バックライト・ボタン 独立エフェクト・ブロック・オン／オフ・ボタン
デザイン	
寸法・質量	
高さ	約 45 mm
幅	約 200 mm
奥行き	約 156 mm
質量	約 0.95 kg
構造	デュアル・ダイキャスト・クラムシェル構造 アクリル・レンズ パンチメタル接続パネル ゴム足 バックライト・グラフィック LCD ディスプレイ
接続	
アナログ・インプット	
コネクター（バランス）	マイク：XLR、 AUX：1/8" ステレオ・ミニジャック
コネクター（アンバランス）	ギター・インプット：1/4"
インピーダンス	バランス／アンバランス：マイク：2.14 ／ 1.07 k Ω
マイク入力レベル @ 0 dBFS	-42 dBu ～ +13 dBu
EIN @ Max Mic Gain Rg = 150 Ω	-127 dBu
マイク S/N 比	> 104 dB
ファンタム・パワー	+48 V（SETUP メニューからオン／オフ切り替え）

AUX 入力レベル @ 0 dBu	+2 dBu
A/D 変換	24 ビット、128 x オーバーサンプリング・ビットストリーム、110 dB SNR A-weighted
アナログ・アウトプット	
D/A 変換	24 ビット、128 x オーバーサンプリング・ビットストリーム、115 dB SNR A-weighted
コネクター（バランス）	XLR
出力インピーダンス	300 Ω（バランス）／150 Ω（アンバランス）
XLR 出力 0 dBFS	+2 dBu
ダイナミック・レンジ	> 109 dB、20 Hz 〜 20 kHz
周波数特性	+0.30/-0 dB、20 Hz 〜 20 kHz
ヘッドフォン・アウト	1/8" ステレオ・ミニジャック
コントロール	
USB	USB-B（ファームウェア・アップデート、プリセット管理、オーディオ I/O）
ペダル	1/4" TRS フォーンジャック
詳細	
電源	
外部パワーサプライ仕様	100 〜 240 VAC、50 to 60 Hz（自動選択）、 12 V DC 0.4 A max output
消費電力	< 14 W
安全	
EMC 準拠規準	EN 55103-1 and EN 55103-2, FCC part 15, Class B, CISPR 22, Class B
安全承認規準	IEC 65, EN 60065, UL6500 and CSA IEC 65, EN 60065, UL6500 and CSA
使用環境条件	
動作環境温度	0 ℃ 〜 50 ℃
保存環境温度	-30 ℃ 〜 70 ℃
湿度	最大 90 %（結露なきこと）